

第2次
旭地区まちづくり計画
2021-2030

集落ビジョン

〔 前期・2021-2025 〕

つながる、楽しむ、普通が素敵。
だもんで、旭。

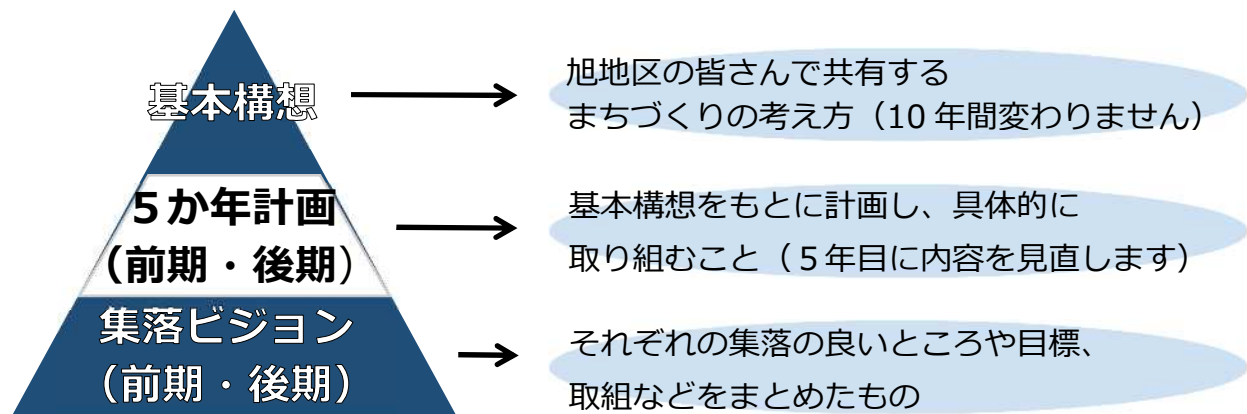


旭地域会議



～ 集落ビジョン [前期・2021－2025] の策定にあたって ～

●令和2年度に「第2次旭地区まちづくり計画」が策定されました。計画は、「基本構想」「5か年計画」「集落ビジョン」の3つから成ります。まず、「基本構想」「5か年計画」を定め、第2次旭地区まちづくり計画がスタートしました。



●令和3年度において、「第2次旭地区まちづくり計画」を共有した上で町内会ごとに将来像について話し合いを実施し、「集落ビジョン（前期5年間）」を策定することとしました。また、合わせて町内会の基礎データとなる「集落点検カルテ」の更新を行いました。

「集落ビジョン」の策定にあたっては、

- ◎町内会のみなさんで話し合いをする機会を設けることを第一としました。
- ◎必ずしも新たな取組を定めなくても、前計画での取組を継続することや、既に実施している取組を推進していくことも可としました。

●「集落ビジョン」と「集落点検カルテ（一部抜粋）」を掲載したこの冊子は、各町内会のまちづくりの方向性と取組が地域住民に共有され、町内会の皆さん、あるいは、近隣の町内会が協力して活動していける手助けとなることを期待して編集しました。

第2次旭地区まちづくり計画は、

SDGs（エスディジーズ）を推進します。

17の目標（ゴール）のうち、「11 住み続けられるまちづくりを」と「17 パートナリーシップで目標を達成しよう」の2つをめざします。

集落ビジョン 目次

町内会分布図 . . . 3 ~ 4 P

小渡自治区

田津原町 (牛地町含む)	5 ~ 6 P
閑羅瀬町 (小滝野町含む)	7 ~ 8 P
時瀬町 . . .	9 ~ 10 P
小渡町 . . .	11 ~ 12 P
万町町 . . .	13 ~ 14 P

敷島自治区

東萩平町 . . .	23 ~ 24 P
大坪町 . . .	25 ~ 26 P
榊野・万根町 . .	27 ~ 28 P
杉本町 . . .	29 ~ 30 P
押井町 . . .	31 ~ 32 P
加塩町 . . .	33 ~ 34 P
太田町 . . .	35 ~ 36 P
小田町 . . .	37 ~ 38 P
明賀町 . . .	39 ~ 40 P

浅野自治区

島崎町 . . .	59 ~ 60 P
下切町 . . .	61 ~ 62 P
下中町 . . .	63 ~ 64 P
上中町 . . .	65 ~ 66 P
上切町 . . .	67 ~ 68 P
一色町 . . .	69 ~ 70 P
浅谷町 . . .	71 ~ 72 P
須渕町 . . .	73 ~ 74 P

笹戸自治区

有間町 . . .	15 ~ 16 P
笹戸町 . . .	17 ~ 18 P
市平町 . . .	19 ~ 20 P
池島町 . . .	21 ~ 22 P

築羽自治区

惣田町 . . .	41 ~ 42 P
小畑町 . . .	43 ~ 44 P
伊熊町 . . .	45 ~ 46 P
伯母沢町 . . .	47 ~ 48 P
槇本町 . . .	49 ~ 50 P
日下部町 . . .	51 ~ 52 P
坪崎町 . . .	53 ~ 54 P
旭八幡町 . . .	55 ~ 56 P
余平町 . . .	57 ~ 58 P

町内会名	人口	世帯数
島 崎 町	61	28
下 切 町	88	31
下 中 町	33	19
上 中 町	27	14
上 切 町	69	31
一 色 町	25	8
浅 谷 町	145	57
須 渕 町	50	26

浅野自治区

町内会 分布図

町内会名	人口	世帯数
田津原町（牛地町含む）	61	24
閑羅瀬町（小滝野町含む）	25	11
時 瀬 町	34	18
小 渡 町	217	98
万 町 町	28	13

町内会名	人口	世帯数
有 間 町	107	39
笹 戸 町	104	43
市 平 町	19	9
池 島 町	63	24

笹戸自治区

町内会名	人口	世帯数
東萩平町	77	32
大 坪 町	129	57
榊野・万根町	184	72
杉 本 町	230	104
押 井 町	79	30
加 塩 町	83	29
太 田 町	97	43
小 田 町	20	8
明 賀 町	33	17

敷島自治区

町内会名	人口	世帯数
惣 田 町	62	22
小 畑 町	53	23
伊 熊 町	59	25
伯母沢町	28	14
槇 本 町	48	14
日下部町	64	28
坪 崎 町	5	4
旭八幡町	31	13
余 平 町	32	12

※人口・世帯数は令和3年10月1日現在の
住民基本台帳による。

田津原町（牛地町含む）集落ビジョン

田津原町の良いところ

- ・段戸川の渓流、駒山を始め、豊かな自然があります。
- ・森づくり会議など地域ぐるみの農地・森林保全活動が盛んです。
- ・頻繁に実家を訪れる親密別居者が比較的多く、独居高齢者等の生活の支えや集落活動の担い手になっています。

田津原町のめざす姿

- ・若者も高齢者も安心して暮らせる地域にする。
- ・空き家に若い世代の夫婦を入れる、子どもが遊べる公園を整備するなどし、若者を増やす。
- ・鳥獣害対策により農家の維持。
- ・超高齢化でも生きがいのある集落を形成し、最小限の現状維持をしていく。

田津原町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・高齢化の進む中で過去の風習、集落行事の見直し維持していけること、無理なこと、方法等を検討

子育て、学び・育ち

- ・心身共に健康に老いていくための「ふれあいサロン」活動の継続

健康づくり

- おばあちゃんはもちろん、おじいちゃんの参加

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・生活道路の整備促進
通行支障木の伐採支援事業の推進、県管理道路の草刈り作業の継続、自治区工事申請の提出

道路・交通、生活

- ・高齢者が安心して暮らせる防災体制づくり

防災、交通安全・防犯

- 地域に合った災害時避難行動マニュアル・非常用備品整備の検討

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・農作物を守るために必要な獣害対策の推進
- ・超高齢者農家の耕作放棄地対策

観光・交流

- ・過去に整備されたしだれ桃の維持管理

まち、歴史・文化

田津原町（牛地町含む）集落点検カルテ

所属自治区 小渡自治区

地区の概要	位置
●旧旭町の東部、稲武地区との境に位置し、明治以来、生駒村、旭村への合併を繰り返し、豊田市への合併により田津原町となる。平成9年からは、大字牛地を吸収し集落運営をしている。 ●牛地町地内には、旧旭町最高峰の駒山があり、山頂には白鳳年間に建立された小馬寺があって家畜の安全祈願のため近郷近在から多くの信者が集まったが、現在は山門を残すのみとなった。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	養護施設「いこまハウス」、(有)大嶋組（建設業）、溪流荘（飲食店）
交通状況	地域バス（田津原・田津原河合・田津原お堂・田津原ソラ・田津原下・溪流荘前・牛地・旭大橋） 稲武からのデマンドバス
消防・警察	足助消防署 旭出張所 24分（12.3km）、浅谷駐在所

基本データ（令和 2 年 10 月 1 日時点）			人口・世帯・世帯人員の推移		
面 積		1,090ha			
人口	計	61 人			
	男 性	28 人			
	女 性	33 人			
	0～14 歳	11 人			
	15～64 歳 (30～64 歳)	16 人 (16 人)			
	65 歳以上 (75 歳以上)	34 人 (19 人)			
	世 帯 数	24 世帯			
平均世帯人員		2.54 人/世帯			

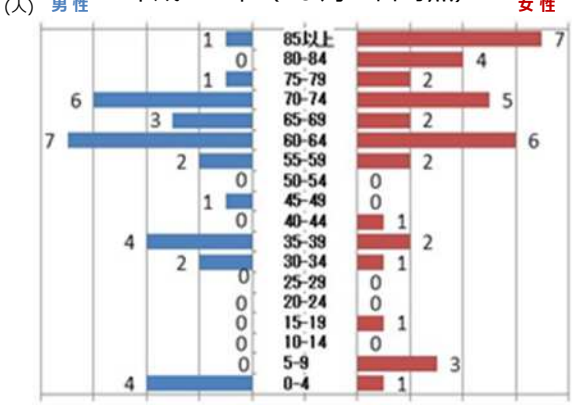
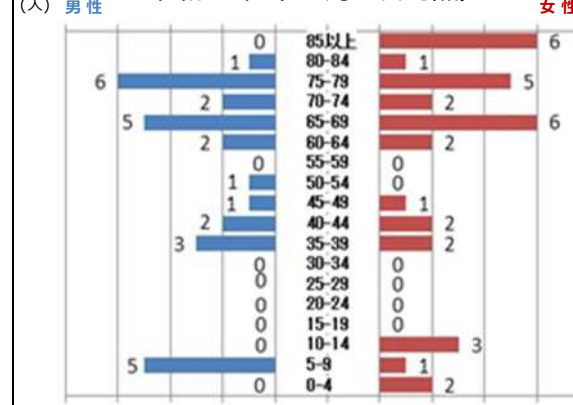
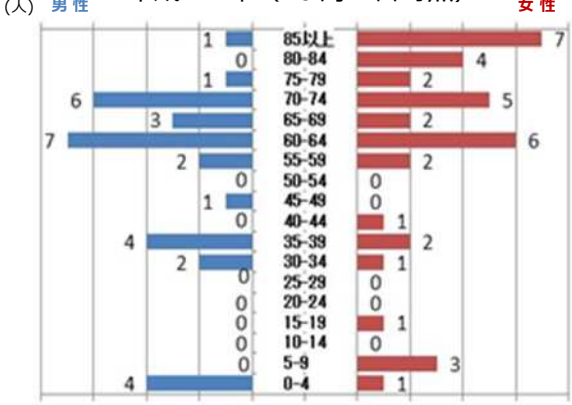
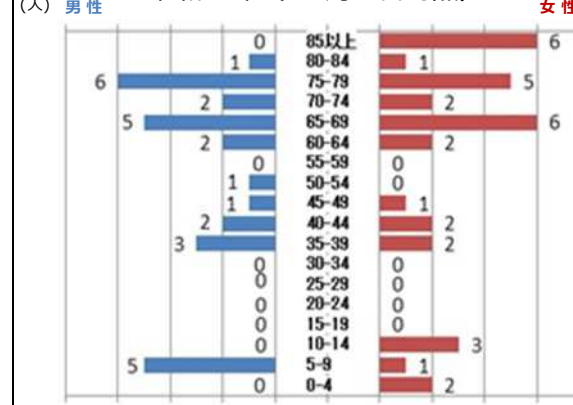
(人・世帯)

人口・世帯数

年	人口	世帯数	世帯人員
H17	89	34	2.62
H20	82	34	2.41
H23	77	34	2.26
H26	72	32	2.25
H29	76	30	2.53
R2	61	24	2.54

(年)

人口 世帯数 世帯人員

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
(人) 男性	(人) 女性	(人) 男性	(人) 女性
			
平均年齢 男性 52.23歳	全体 57.40歳	平均年齢 男性 52.68歳	全体 55.68歳
	女性 61.73歳		女性 58.09歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

閑羅瀬町（小滝野町含む）集落ビジョン

閑羅瀬町の良いところ

- ・集落が9戸と非常に少なく隣接しているため、連絡や確認がスムーズにでき、集落全体の様子が把握しやすく横のつながりが強いです。
- ・高齢者が農地及び自然と共に活動できる環境であり、健康的な生活が送られています。

閑羅瀬町のめざす姿

- ・農地の維持及び遊休農地の保全を通して、現状の姿を維持していること。



閑羅瀬町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・『閑羅瀬の湖を彩る会』による環境整備等地域内交流
- ・伝統行事の維持による地域内交流

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・たすけあいカー登録者の推進
- ・移動販売の維持
- ・定期的な駐在所の巡回

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・遊休農地の有効活用等、誰もが訪れたいくなる持続可能な景観づくりを目指して、元々集落にある自然を強調できる整備を行う

観光・交流

まち、歴史・文化

- ① しだれ桃植栽地や百日紅の管理
- ② 自生する樹木の適正な管理
- ③ ダム建設で水没した牛地の桜の老木の適切な管理

閑羅瀬町（小滝野町含む）集落点検カルテ

所属自治区 小渡自治区

地区の概要	位置
●旧旭町の北東部岐阜県境に位置し、集落北端を矢作川が蛇行して流れている。川の曲がり角の土砂体積地に農地を作り、民家は川沿いに集まっている。 ●昭和41年には、21戸を数えた民家も、矢作ダムの完成により半数以上が転出した。 ●昭和45年完成した矢作ダム水没地にあった、上倉の桜の子孫を移植したものが市道わきにある。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	国土交通省矢作ダム管理所、愛知県旭高原自然の家
交通状況	地域バス（閑羅瀬・閑羅瀬松根）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 11分（5.7km）、浅谷駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移																													
面積	458ha	<table border="1"><thead><tr><th>年</th><th>人口</th><th>世帯数</th><th>世帯人員</th></tr></thead><tbody><tr><td>H17</td><td>39</td><td>11</td><td>3.55</td></tr><tr><td>H20</td><td>38</td><td>11</td><td>3.45</td></tr><tr><td>H23</td><td>38</td><td>12</td><td>3.17</td></tr><tr><td>H26</td><td>28</td><td>10</td><td>2.80</td></tr><tr><td>H29</td><td>27</td><td>10</td><td>2.70</td></tr><tr><td>R2</td><td>25</td><td>10</td><td>2.50</td></tr></tbody></table>		年	人口	世帯数	世帯人員	H17	39	11	3.55	H20	38	11	3.45	H23	38	12	3.17	H26	28	10	2.80	H29	27	10	2.70	R2	25	10	2.50
年	人口	世帯数	世帯人員																												
H17	39	11	3.55																												
H20	38	11	3.45																												
H23	38	12	3.17																												
H26	28	10	2.80																												
H29	27	10	2.70																												
R2	25	10	2.50																												
人口	計	25人																													
	男性	13人																													
	女性	12人																													
	0～14歳	0人																													
	15～64歳 (30～64歳)	12人 (11人)																													
	65歳以上 (75歳以上)	13人 (10人)																													
世帯数		10世帯																													
平均世帯人員		2.50人/世帯																													

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
(人) 男性	(人) 女性	(人) 男性	(人) 女性
平均年齢 男性 57.56歳 全体 61.82歳 女性 67.50歳		平均年齢 男性 66.00歳 全体 69.12歳 女性 72.50歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

時瀬町 集落ビジョン

時瀬町の良いところ

- ・ご近所が高低差もなく距離も近く家屋がかたまっているため、コミュニケーションが取りやすい地域です。
- ・昔から助け合いの精神がある地域です。

時瀬町のめざす姿

- ・住民が高齢になってもいつまでも支え合って住んでいくという心構えを持っている。
- ・上下時瀬の共同作業はできる限り続けていきたい。
- ・みんなの合意を得て、空き家などの管理をみんなで行っていきたい。

時瀬町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちを通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・空き家に仏壇が残っている問題を解決して定住促進

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・回覧板を持っていくことにより、安否確認

道路・交通、生活

- ・会議をできるだけ多く行い、いろいろな情報交換

防災、交通安全・防犯

- ・バス停を便利な場所に移動するなどのように、地域の利便性を向上させる取組を続ける

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・鮎が釣れるように、砂の流れる川のために河川敷への砂の搬入に協力

観光・交流

- ・花壇づくり等、住民に負担のかからない補助事業を活用

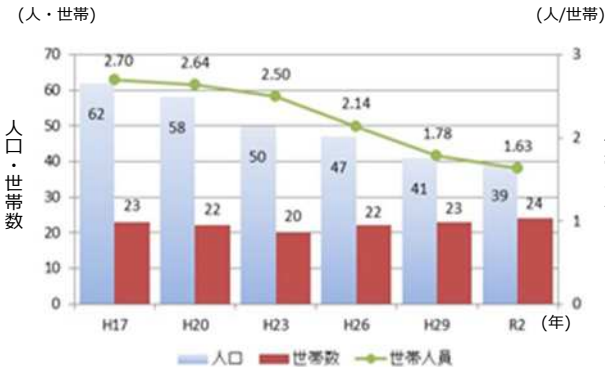
まち、歴史・文化

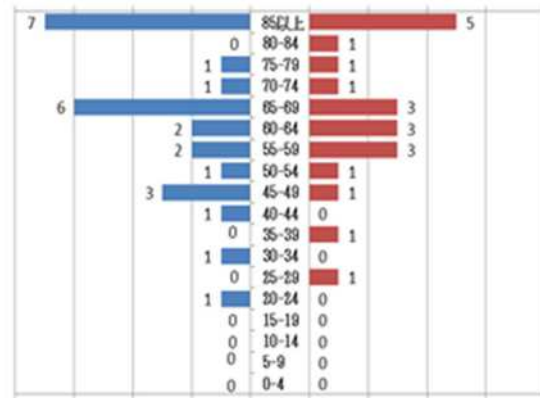
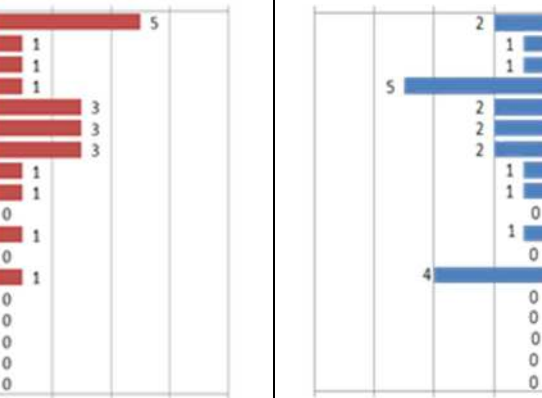
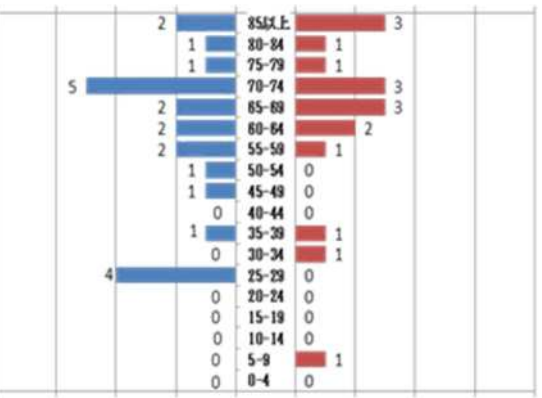
- ・時瀬のシンボルである大イチョウを守り、駐車場の草刈り等の管理

時瀬町 集落点検カルテ

所属自治区 小渡自治区

地区の概要	位置
●時瀬は、旧旭町の中央北部に位置し、明治以来、介木村、旭村と合併を重ね、平成17年豊田市と合併により時瀬町となる。集落北側を流れる矢作川沿いの土石流堆積地に民家、農地が分布しており、上時瀬、下時瀬に分かれている。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	松寿建設(株)（建設業）
交通状況	地域バス（上時瀬・下時瀬）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 4分（1.9 km）、浅谷駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
面積	260ha		
人口	計	39人	
	男性	22人	
	女性	17人	
	0～14歳	1人	
	15～64歳 (30～64歳)	16人 (12人)	
	65歳以上 (75歳以上)	22人 (9人)	
世帯数		24世帯	
平均世帯人員		1.63人/世帯	

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
(人) 男性	(人) 女性	(人) 男性	(人) 女性
			
平均年齢 男性 65.81歳 全体 66.11歳 女性 66.48歳		平均年齢 男性 60.09歳 全体 62.31歳 女性 65.18歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

小渡町 集落ビジョン

小渡町の良いところ

- ・日常生活が便利 旭地区の地域核として公共機能、経済機能が集約されています。
- ・自慢のイベントがある まちづくり団体をはじめ、地域の皆でまちを元気にするイベントなどに取り組んでいます。
- ・四季折々の豊かな自然 矢作川や芥木川、弘法山や夢渡野公園など地域資源に恵まれています。

小渡町のめざす姿

- ・自慢の町になっている（シビックプライドの醸成）。
- ・日常生活が今と同じように行われている（商店街等の維持）。
- ・伝統行事が維持されている（コミュニティの存続）。



小渡町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちを通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

子育て、学び・育ち

健康づくり

- 町内会行事を通じて地域のコミュニティの絆を深めるとともに、まちづくり団体と町内会の目指す姿を共有し、活動を支援していく
- ・地域行事への積極的な参加
 - ・まちづくり団体の活動への積極的な参加

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

- 人口減少が進む中、高齢者を頼り社会参加いただくことで、地域で不足する貴重な戦力としての活躍と、フレイル予防の観点からも生涯現役で活動いただき、健康で長生きの継続に繋げる
- ・高齢者の地域行事への積極的な参加
 - ・高齢者のまちづくり団体の活動への積極的な参加

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

観光・交流

まち、歴史・文化

- ・空き店舗の活用を図る
- ・観光まちづくりの視点でインフラ整備の実現を目指す（小渡商店街の舗装工事、交差点付近排水工事の実現）
- ・夢かけ風鈴まつり、小渡天王祭の活性化を図り、自慢のイベントにすることでシビックプライドを醸成する

小渡町 集落点検カルテ

所属自治区 小渡自治区

地区の概要	位置
●小渡は、旧旭町の中央北部に位置し、明治以来、芥木村、旭村、豊田市と合併を重ね、平成17年小渡町となる。 ●集落東部には、智教院（お不動さん）があり、3月下旬には、大祭が開催され、近郷近在から多くの信者が訪れている。 ●最近青年部が、矢作川の風を活かした夢かけ風鈴、夢渡野公園整備等に取り組み、活性化を図っている。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	豊田市役所旭支所、あいち豊田農協旭支店、旭郵便局、旭商工会、旭観光協会、森下医院
交通状況	おいでんバス（小渡・小渡大橋・小渡西・間ヶ島・小柳） 地域バス（豊田市役所旭支所・小渡中央広場・小渡大橋・小渡西・間ヶ島・小柳・旭郵便局・農協上・小渡お不動さん前）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 6分（2.8 km）、浅谷駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）	人口・世帯・世帯人員の推移																		
<table> <tr> <th>面積</th><th>337ha</th></tr> <tr> <td>人口</td><td>229人</td></tr> <tr> <td>男性</td><td>112人</td></tr> <tr> <td>女性</td><td>117人</td></tr> <tr> <td>0～14歳</td><td>11人</td></tr> <tr> <td>15～64歳（30～64歳）</td><td>106人（86人）</td></tr> <tr> <td>65歳以上（75歳以上）</td><td>112人（78人）</td></tr> <tr> <td>世帯数</td><td>100世帯</td></tr> <tr> <td>平均世帯人員</td><td>2.29人/世帯</td></tr> </table>	面積	337ha	人口	229人	男性	112人	女性	117人	0～14歳	11人	15～64歳（30～64歳）	106人（86人）	65歳以上（75歳以上）	112人（78人）	世帯数	100世帯	平均世帯人員	2.29人/世帯	
面積	337ha																		
人口	229人																		
男性	112人																		
女性	117人																		
0～14歳	11人																		
15～64歳（30～64歳）	106人（86人）																		
65歳以上（75歳以上）	112人（78人）																		
世帯数	100世帯																		
平均世帯人員	2.29人/世帯																		

人口ピラミッド（平成 27 年と令和 2 年の比較）

平成 27 年（10 月 1 日時点）

(人) 男性

女性 (人)

年齢	男性 (人)	女性 (人)
85以上	3	21
80-84	13	9
75-79	17	15
70-74	15	15
65-69	9	10
60-64	9	5
55-59	13	6
50-54	9	11
45-49	9	11
40-44	4	8
35-39	2	6
30-34	4	3
25-29	3	4
20-24	9	9
15-19	8	8
10-14	5	3
5-9	2	6
0-4	2	0

平均年齢 男性 54.21 歳 全体 55.32 歳 女性 56.33 歳

令和 2 年（10 月 1 日時点）

(人) 男性

女性 (人)

年齢	男性 (人)	女性 (人)
85以上	11	16
80-84	12	14
75-79	11	14
70-74	10	10
65-69	8	6
60-64	13	7
55-59	8	11
50-54	8	11
45-49	5	7
40-44	2	7
35-39	3	1
30-34	3	0
25-29	2	1
20-24	6	4
15-19	4	3
10-14	2	4
5-9	4	0
0-4	0	1

平均年齢 男性 58.69 歳 全体 60.63 歳 女性 62.49 歳

万町町 集落ビジョン

万町町の良いところ

- ・お互いに声を掛け合い、助け合って暮らせる地域です。
- ・年2回の環境美化草刈りの昼食時に、町外応援者と共に懇談をしています。

万町町のめざす姿

- ・山野草の宝の山にする。
- ・現在の12戸中、1人暮らし6戸を維持していく。



万町町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちを通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・ふれあいサロンなどで健康づくり

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・常日ごろの近所同士の声かけ
- ・災害時の助け合い

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・しだれ桃などの花の手入れ

観光・交流

まち、歴史・文化



万町町 集落点検カルテ

所属自治区 小渡自治区

地区の概要	位置
●集落は、旧旭町中央部に位置し、明治以来合併を繰り返し、平成17年豊田市との合併により万町町となる。 ●集落南部を西に蛇行して流れる介木川沿いと、右岸山地稜線付近の斜面に農地と民家が散在している。 ●昭和47年から、山地稜線部につながる自動車道が開設されたが、過疎化が進む中、空き家が多くなり、残る住民も高齢化が進んでいる。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（万町・万町餅形・万町飛ヶ入・万町尺地元・万町本古・万町下根・万町紙屋・万町柿平）
消防・警察	足助消防署 旭出張所13分（6.6km）、浅谷駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
面積	283ha		
人口	計		
	男性		
	女性		
	0～14歳		
	15～64歳（30～64歳）		
	65歳以上（75歳以上）		
世帯数	13世帯		
平均世帯人員	2.31人/世帯		

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
(人) 男性	(人) 女性	(人) 男性	(人) 女性
4	2	4	3
3	1	2	1
1	1	1	4
1	1	1	1
0	0	0	0
0	0	0	1
0	0	0	0
0	0	0	1
0	0	0	0
0	0	0	1
1	0	1	0
1	0	1	1
1	0	1	0
0	1	0	1
0	1	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
0	0	0	0
2	0	3	0
1	0	1	0
2	0	1	0
平均年齢 男性 60.13歳 全体 64.84歳 女性 69.56歳		平均年齢 男性 49.12歳 全体 58.77歳 女性 71.38歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

有間町 集落ビジョン

有間町の良いところ

・無理せず、皆が進めやすい活動方針で、楽しく長続きできる行事等をめざしています。

有間町のめざす姿

・安心、安全な町づくりのため生活環境を見直す。
・高齢化のため活動内容の見直しを行う。



有間町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

・高齢者増加に伴う助け合い活動（安否確認等）

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

・班ごとに電話連絡による避難手順の確認及び自治区との連絡・連携の確認訓練の実施

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

・現状の景観を維持していく

観光・交流

まち、歴史・文化

有間町 集落点検カルテ

所属自治区 笹戸自治区

地区の概要	位置
●有間は、旧旭町の西部に位置し、明治以来、野見村、旭村に合併し、平成17年豊田市との合併により有間町となる。 ●昭和24年に現在の小田町が分離され、宇内戸と本郷の2集落から成り立っている。 ●集落西部を流れる矢作川に沿って、2箇所に土石流堆積地があり、ここに農地民家が分布している。 ●昭和47年まで、矢作川対岸の小原村平畑とは、渡船の往来が見られた。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	中垣酒造(株)（酒醸造）
交通状況	おいでんバス・地域バス（宇内戸・平畑口・有間）
消防・警察	足助消防署 旭出張所13分（6.3km）、浅谷駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
人口	面積	195ha	
	計	110人	
	男性	52人	
	女性	58人	
	0～14歳	13人	
	15～64歳 (30～64歳)	46人 (34人)	
	65歳以上 (75歳以上)	51人 (26人)	
世帯数		40世帯	
平均世帯人員		2.75人/世帯	

人口・世帯数

年	人口	世帯数	世帯人員
H17	144	42	3.43
H20	136	39	3.49
H23	123	38	3.24
H26	113	38	2.97
H29	118	41	2.88
R2	110	40	2.75

人口・世帯

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）	
平成27年（10月1日時点）	
男性（人）	女性（人）
85以上	7
80-84	1
75-79	7
70-74	2
65-69	7
60-64	4
55-59	6
50-54	0
45-49	4
40-44	4
35-39	6
30-34	2
25-29	1
20-24	0
15-19	1
10-14	6
5-9	3
0-4	2
平均年齢 男性 49.00歳 全体 50.08歳 女性 51.11歳	
令和2年（10月1日時点）	
男性（人）	女性（人）
85以上	5
80-84	6
75-79	2
70-74	8
65-69	4
60-64	6
55-59	0
50-54	4
45-49	4
40-44	5
35-39	1
30-34	1
25-29	0
20-24	1
15-19	6
10-14	3
5-9	2
0-4	0
平均年齢 男性 52.63歳 全体 53.67歳 女性 54.60歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

笹戸町 集落ビジョン

笹戸町の良いところ

- ・手を貸してほしい時、一声掛けると
快く手を差し延べてもらえます。
- ・行事の集まりで目標を成し遂げる
ためにどうするか、互いに考えて協力
し合えます。

笹戸町のめざす姿

- ・町民の半数が後期高齢者で占める
ようになるので、他の町内会と交流を
深め協力して行事に当たれるように
する。
- ・緩やかな世代交代を行う。



笹戸町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・市営住宅の空き家解消を行政へ働きかける
- ・交流会を設けて幅広い意見を聞く

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・日頃からあいさつを心掛け、いつでも互いに話し合
える関係を保つ

道路・交通、生活

- ・防災訓練時など年1回はハザードマップの確認を習
慣にする

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・笹戸公園の整備
- ・祭事の備品づくりの伝承

観光・交流

まち、歴史・文化



笹戸町 集落点検カルテ

所属自治区 笹戸自治区

地区の概要	位 置
● 笹戸は、旧旭町の西部に位置し、明治以来、野見村、旭村と合併し、平成17年豊田市との合併により笹戸町となる。 ● 集落西部を矢作川が流れ、流れ込む大坪川との合流地に形成された平地に、民家と農地が分布している。 ● 集落には、県下最古の笹戸温泉があり、昭和40年笹戸大橋が完成し、温泉観光地として栄えてきたが、過疎化、旅館経営者の高齢化により、旅館、人口も減少している。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	笹戸会館
交通状況	おいでんバス・地域バス（笹戸）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 16分（8.1km）、浅谷駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）	人口・世帯・世帯人員の推移																		
<table border="1"> <tr> <th>面 積</th><th>119ha</th></tr> <tr> <td>計</td><td>109人</td></tr> <tr> <td>男 性</td><td>56人</td></tr> <tr> <td>女 性</td><td>53人</td></tr> <tr> <td>0～14歳</td><td>15人</td></tr> <tr> <td>15～64歳 (30～64歳)</td><td>64人 (50人)</td></tr> <tr> <td>65歳以上 (75歳以上)</td><td>30人 (15人)</td></tr> <tr> <td>世 帯 数</td><td>42世帯</td></tr> <tr> <td>平均世帯人員</td><td>2.60人/世帯</td></tr> </table>	面 積	119ha	計	109人	男 性	56人	女 性	53人	0～14歳	15人	15～64歳 (30～64歳)	64人 (50人)	65歳以上 (75歳以上)	30人 (15人)	世 帯 数	42世帯	平均世帯人員	2.60人/世帯	
面 積	119ha																		
計	109人																		
男 性	56人																		
女 性	53人																		
0～14歳	15人																		
15～64歳 (30～64歳)	64人 (50人)																		
65歳以上 (75歳以上)	30人 (15人)																		
世 帯 数	42世帯																		
平均世帯人員	2.60人/世帯																		

人口ピラミッド（平成 27 年と令和 2 年の比較）

平成 27 年（10 月 1 日時点）

(人) 男性

女性 (人)

年齢	男性 (人)	女性 (人)
85以上	2	4
80-84	1	4
75-79	1	2
70-74	2	3
65-69	7	3
60-64	1	5
55-59	3	1
50-54	6	2
45-49	5	4
40-44	9	5
35-39	2	5
30-34	0	1
25-29	2	1
20-24	1	2
15-19	2	2
10-14	5	5
5-9	2	1
0-4	1	2

平均年齢 男性 45.48 歳 全体 46.94 歳 女性 48.40 歳

令和 2 年（10 月 1 日時点）

(人) 男性

女性 (人)

年齢	男性 (人)	女性 (人)
85以上	2	6
80-84	1	2
75-79	1	3
70-74	6	3
65-69	1	5
60-64	4	1
55-59	7	2
50-54	3	4
45-49	8	3
40-44	2	6
35-39	3	3
30-34	2	2
25-29	2	1
20-24	1	1
15-19	5	4
10-14	3	1
5-9	3	3
0-4	2	3

平均年齢 男性 44.66 歳 全体 46.68 歳 女性 48.81 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

市平町 集落ビジョン

市平町の良いところ

- ・少人数のため住民同士の絆が深い地域です。
- ・自然が豊かで静かにのんびり暮らせます。
- ・皆で助け合い協力しながら行事等を行います。

市平町のめざす姿

- ・過疎化が進んでいるため、一人でも多くの人に移住して人口が増えることで、活性化をしていく。
- ・空き家バンクへの登録を推進する。



市平町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちを通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・隣町との積極的な交流
- ・いろいろなイベントへの参加、まちづくりへの参加
- ・健康づくりのための活動を推進
グランドゴルフ、ウォーキング、ストレッチ、
脳トレなど

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・ハザードマップを活用し、災害時避難行動の訓練の実施

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・県道、市道、山林の整備
- ・桜の植樹

観光・交流

まち、歴史・文化

市平町 集落点検カルテ

所属自治区 笹戸自治区

地区の概要	位置
●市平は、旧旭町の西部に位置し、西側を矢作川が流れ、対岸は、旧小原村築平町である。明治以来、野見村、旭村に合併を重ね、平成17年豊田市との合併により市平町となる。 ●矢作川に山が接近しており、川に沿って7戸、山間中腹に2戸が分布している。 ●集落内津島神社には、市指定の天然記念物の、「かごの木」、「七色木」がある。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（市平・市平山中）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 18分（9.2 km）、浅谷駐在所

基本データ（令和 2 年 10 月 1 日時点）			人口・世帯・世帯人員の推移																														
人口	面 積	78ha	（人・世帯） （人/世帯） <table><tr><th>年</th><th>人口</th><th>世帯数</th><th>世帯人員</th></tr><tr><td>H17</td><td>29</td><td>9</td><td>3.22</td></tr><tr><td>H20</td><td>34</td><td>11</td><td>3.09</td></tr><tr><td>H23</td><td>31</td><td>11</td><td>2.82</td></tr><tr><td>H26</td><td>27</td><td>9</td><td>3.00</td></tr><tr><td>H29</td><td>23</td><td>9</td><td>2.56</td></tr><tr><td>R2</td><td>22</td><td>10</td><td>2.20</td></tr></table> 人口・世帯数 世帯人員			年	人口	世帯数	世帯人員	H17	29	9	3.22	H20	34	11	3.09	H23	31	11	2.82	H26	27	9	3.00	H29	23	9	2.56	R2	22	10	2.20
	年	人口				世帯数	世帯人員																										
	H17	29				9	3.22																										
	H20	34				11	3.09																										
	H23	31				11	2.82																										
	H26	27				9	3.00																										
	H29	23				9	2.56																										
R2	22	10	2.20																														
計	22 人																																
男 性	11 人																																
女 性	11 人																																
0～14 歳	1 人																																
15～64 歳 (30～64 歳)	14 人 (11 人)																																
65 歳以上 (75 歳以上)	7 人 (4 人)																																
世 帯 数		10 世帯																															
平均世帯人員		2.20 人/世帯																															

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
(人) 男性	(人) 女性	(人) 男性	(人) 女性
平均年齢 男性 58.38歳 全体 54.11歳 女性 50.14歳		平均年齢 男性 54.82歳 全体 57.32歳 女性 59.82歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

池島町 集落ビジョン

池島町の良いところ

- ・景観整備が旭地区で最初にされた地域資源（矢作川・桜・もみじ・温泉・福祉センター・育苗センター）の豊かなまちです。
- ・高齢者の見守り、話しかけ、支え合いも日常生活で行われています。

池島町のめざす姿

- ・集落の耕作者が協力し、農地の保全に努めます。
- ・地域の絆を深め、ふるさと池島を未来につなげます。
- ・災害時には「声かけ」、「早めの避難」を心がけます。



池島町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・空き家情報の発信

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・話しかけ、支え合いを今以上に推進

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯



重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・2026年のカヌーアジア大会に自治区を通して協力

観光・交流

まち、歴史・文化

池島町 集落点検カルテ

所属自治区 笹戸自治区

地区の概要	位置
●池島は、旧旭町の南西部に位置し、明治以来、野見村、旭村に合併を重ね、平成17年豊田市との合併により池島町となる。集落北西部を矢作川が流れ、対岸の川下町（小原地区）と接している。 ●平成5年の愛知国体で、カヌー競技場を整備し、次年度ワールドカップを開催した。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	ぬくもりの里（社会福祉協議会旭支所）
交通状況	地域バス（池島・池島沢中・ぬくもりの里）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 21分（10.5 km）、浅谷駐在所

基本データ（令和 2 年 10 月 1 日時点）			人口・世帯・世帯人員の推移		
面 積		231ha			
人口	計	67 人			
	男 性	31 人			
	女 性	36 人			
	0～14 歳	9 人			
	15～64 歳 (30～64 歳)	30 人 (26 人)			
	65 歳以上 (75 歳以上)	28 人 (14 人)			
	世 帯 数	24 世帯			
平均世帯人員		2.79 人/世帯			

（人・世帯）

（人/世帯）

年	人口	世帯数	世帯人員
H17	79	22	3.59
H20	78	23	3.39
H23	72	22	3.27
H26	70	22	3.18
H29	70	22	3.18
R2	67	24	2.79

人口・世帯数

世帯人員

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
(人) 男性	(人) 女性	(人) 男性	(人) 女性
平均年齢 男性 52.78歳 全体 51.92歳 女性 50.97歳		平均年齢 男性 57.00歳 全体 52.96歳 女性 49.74歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

東萩平町 集落ビジョン

東萩平町の良いところ

- ・困ったときに助け合っています。
- ・定住促進も進み子どもが多くなり、子どもたち同士や親たちの交流も進んでいます。

東萩平町のめざす姿

- ・高齢者が多く、一人暮らしになっていく人も増えているので、互いに協力して見守り、支援ができているまちにしたい。



東萩平町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・空き家の有効活用のために、親近者や出身者への協力を呼びかけ定住促進

子育て、学び・育ち

- ・「いきいき広場」を開催して、楽しい活動を行い、健康で笑顔いっぱいの町に

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・ご近所同士の声かけによる元気確認
- ・高齢者の家庭、一人暮らしの方への見守りと支援

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・お須原山や縁結び岩、子授けの神様等のパワースポットと工芸文化を一体化した体験型の周遊観光の仕組みの検討

観光・交流

- ・お須原山の整備（散策道や植栽等）
- ・パワースポットを生かしたグッズの開発、販売
- ・工芸体験やイベントの検討、開催（お蔵展等）

まち、歴史・文化

東萩平町 集落点検カルテ

所属自治区 敷島自治区

地区の概要	位置
●東萩平は、旧旭町の南西部に位置し、明治以来、合併により野見村、旭村を経て、平成17年豊田市との合併により東萩平町となる。 ●集落は、比較的広い平地に民家が散在している。 ●集落西部に、お須原山があり、御鞆神社が祀られていて、周辺13か村により、13年目毎に祭りが行われている。山頂からは、眼下に矢作川を見下ろす景観を利用し、住民による環境整備が行われている。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	笹戸カントリー
交通状況	地域バス（東萩平・東萩平大平・東萩平糯田）
消防・警察	足助消防署 旭出張所20分（10.2 km）、杉本駐在所

基本データ（令和 2 年 10 月 1 日時点）			人口・世帯・世帯人員の推移	
面 積		180ha		
人口	計	74 人		
	男 性	37 人		
	女 性	37 人		
	0～14 歳	11 人		
	15～64 歳 (30～64 歳)	27 人 (26 人)		
	65 歳以上 (75 歳以上)	36 人 (19 人)		
世 帯 数		29 世帯		
平均世帯人員		2.55 人/世帯		

人口・世帯数

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口

世帯数

世帯人員

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）	
平成27年（10月1日時点）	令和2年（10月1日時点）
平均年齢 男性 52.35歳 全体 58.83歳 女性 63.51歳	平均年齢 男性 50.95歳 全体 56.37歳 女性 61.16歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

大坪町 集落ビジョン

大坪町の良いところ

- ・皆で助け合うまとまりがあります。
- ・集団活動を町内で協力し合っています。（子ども会、老人クラブなど）
- ・何でも屋さんのグループがあります。
- ・お雛祭り、盆踊りなど昔からの伝統を引き継いでいます。
- ・黄色いハンカチ運動で、全戸のお隣さんの安否確認をしています。

大坪町のめざす姿

- ・安心・安全で楽しく暮らしやすいまちづくりをめざします。
- ・川や農地や山林の保全をめざします。
- ・田舎らしい風景のまちをめざします。
- ・若い世代を増やし集落の担い手となり、若返った素晴らしいまちをめざします。
- ・困りごとを皆で話し合い、助け合えるまちをめざします。

大坪町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちに通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・空き家等の提供に向けた親近者や出身者への呼びかけで、空き家バンクへの登録を推進

子育て、学び・育ち

- ・ふれあいサロンでの「元気アップ教室」実践による健康づくり

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・黄色いハンカチ運動によるご近所同士の元気確認
- ・災害時避難行動マニュアルを活用し避難訓練の実施
- ・緊急時の連絡、支援体制の整備
- ・保護者や「おおつぼ明日の会」による通学路等の定期点検、整備の充実

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・空き地や耕作放棄地を利用した美しい景観づくり
- ・地域の子どもたちへの棒の手伝承活動の継続と技術の向上

観光・交流

まち、歴史・文化

大坪町 集落点検カルテ

所属自治区 敷島自治区

地区の概要	位置
●大坪は、旧旭町中央西部に位置し、大坪村と高能村が合併し、その後、野見村、旭村と合併を重ね、平成17年豊田市との合併により大坪町となる。 ●旧大坪村の中央を流れる大坪川と、その支流に沿う農地を囲むように民家が散在している。 ●かつては、大坪小学校（昭和43年閉校）があり、この地域の中心的存在であった。 ●昭和51年笹戸カントリークラブがオープンし、来客の往来が多くなった。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	笹戸カントリークラブ
交通状況	地域バス（高能・大坪・大坪上・大坪井敷・大坪駒）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 18分（9.0 km）、杉本駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
人口	面積	326ha	
	計	129人	
	男性	59人	
	女性	70人	
	0～14歳	9人	
	15～64歳（30～64歳）	64人（55人）	
	65歳以上（75歳以上）	56人（26人）	
世帯数		57世帯	
平均世帯人員		2.26人/世帯	

年	人口	世帯数	世帯人員
H17	170	56	3.04
H20	165	55	3.00
H23	152	56	2.71
H26	137	55	2.49
H29	136	59	2.31
R2	129	57	2.26

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）	
平成27年（10月1日時点）	令和2年（10月1日時点）
平均年齢 男性 52.63歳 全体 54.75歳 女性 56.61歳	平均年齢 男性 55.20歳 全体 57.09歳 女性 58.67歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

榊野・万根町 集落ビジョン

榊野町の良いところ

- ・旭地区の中で現役世代の人口割合が比較的に多い集落です。
- ・温泉、溪流、山桜などの地域資源が豊富です。
- ・女性の活動が活発です。
- ・空き家情報バンク制度を利用した夫婦が地域になじみ、移住の好事例となっています。

榊野町のめざす姿

- ・地域資源や文化的資源を生かした景観整備等を進め、地域の魅力を上げます。
- ・景観整備作業への参加の呼びかけの実施
- ・継続的な植栽や草刈り等の維持
- ・わくわく事業への参加

榊野町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちを通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・空き家等の提供に向けた親近者や出身者への協力呼びかけ

子育て、学び・育ち

- ・暮らしに合わせた仕事の紹介
- ・子育て環境の充実

健康づくり

- ・子どものまちづくりへ参加

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・暮らしの不安解消
- ・高齢者の外出促進

道路・交通、生活

- ・生活環境の整備
- ・交通事故防止、防犯対策の推進

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・地域資源を活用した産業の育成
- ・観光事業の充実

観光・交流

- ・歴史、伝統文化の継承

まち、歴史・文化

榊野・万根町 集落点検カルテ

所属自治区 敷島自治区

地区の概要	位置
●榊野は、月畑、小沢、能見、鳥ノ巣が合併し、榊野村となり、その後野見村、旭村を経て、平成17年豊田市との合併で榊野町となる。この合併と同時に、万根町を榊野町に編入した。 ●明治には、小学校、郵便局があり、この地域の中心地となっていた。 ●集落中央を阿摺川が流れ、これに注ぐ支流が洞々を形成し、川を中心に農地があり、農地を囲んだ山麓斜面に民家が散在している。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	(株)榊建設（建設業）
交通状況	おいでんバス（押井口・榊野） 地域バス（鳥ノ巣・押井口・榊野・榊野月畑・榊野平野口・万根）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 17分（8.7 km）、杉本駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
人口	面積	514ha	
	計	190人	
	男性	92人	
	女性	98人	
	0～14歳	17人	
	15～64歳 (30～64歳)	97人 (75人)	
	65歳以上 (75歳以上)	76人 (46人)	
世帯数		74世帯	
平均世帯人員		2.57人/世帯	

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
(人) 男性	(人) 女性	(人) 男性	(人) 女性
平均年齢 男性 51.40歳 全体 54.50歳 女性 57.30歳		平均年齢 男性 49.54歳 全体 53.44歳 女性 57.10歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

杉本町 集落ビジョン

杉本町の良いところ

- ・小中学校やこども園等の教育施設、市営住宅（杉本住宅・エビネの里）、敷島会館、郵便局、駐在所、事業所が地域内にあり、住環境に恵まれています。
- ・貞観杉や神明神社など地域の核となる貴重な資源や、棒の手・打ち囃子などの継承によりまちの一体感を高めることができます。

杉本町のめざす姿

- ・貞観杉や神明神社などの地域資源を活用し、魅力ある地域づくりを進めます。
- ・祭礼や伝統芸能の継承を通じて、まちの一体感やつながりを深めます。
- ・班ごとの祭礼・伝統行事を守り、コミュニケーションや絆を大切にします。



杉本町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・神社周辺の整備、環境美化、祭礼の継続など、多くの住民が地域活動に参加できるまちづくりへの取組

子育て、学び・育ち

- ・市営住宅（杉本住宅・エビネの里）入居希望者増に向けた情報発信及びフォロー体制づくり

健康づくり

- ・移住希望者への空き家情報、空き地情報の提供

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・高齢者・独居老人等への安否確認体制への取組
- ・防災マップの活用、防災意識の向上・啓発

道路・交通、生活

- ・防犯灯の見直し、再整備

防災、交通安全・防犯

- ・門灯点灯活動の推進

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・集落営農事業への取組と担い手育成、利用者支援
- ・鳥獣害対策の支援制度の活用・取組

観光・交流

- ・祭礼などに参加しやすい環境を整え、住民や出身者等への参加呼びかけ

まち、歴史・文化

- ・棒の手・打ち囃子保存会への勧誘、担い手の育成
- ・町外のイベントでの棒の手・打ち囃子の披露

杉本町 集落点検カルテ

所属自治区 敷島自治区

地区の概要	位置
●白石、九沢、沢尻、源重、大垣内が合併して杉本村となり、その後、野見村、旭村を経て、平成17年豊田市との合併により杉本町となる。旭村に合併まで、ここに役場があった。 ●明治の後半には、小学校、郵便局が設置され、敷島地区の中心地であった。 ●集落中央の神明神社境内には、国指定天然記念物「貞観杉」がある。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	敷島会館、旭中学校、敷島小学校、杉本こども園、杉本駐在所、杉本郵便局、市営住宅（杉本住宅・エビネの里）、旭工業(株)（縫製業）
交通状況	おいでんバス（白石・杉本） 地域バス（白石・杉本・杉本九沢・杉本稲葉下・杉本境久保・落・旭中学校・敷島小学校）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 13分（6.7km）、杉本駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
人口	面積	337ha	
	計	257人	
	男性	105人	
	女性	152人	
	0～14歳	23人	
	15～64歳（30～64歳）	155人（114人）	
	65歳以上（75歳以上）	79人（47人）	
世帯数		122世帯	
平均世帯人員		2.11人/世帯	

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
(人) 男性	(人) 女性	(人) 男性	(人) 女性
平均年齢 男性 46.11歳 全体 45.58歳 女性 45.18歳		平均年齢 男性 49.16歳 全体 48.50歳 女性 48.05歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

押井町 集落ビジョン

押井町の良いところ

- ・地域づくりのリーダーや担い手が多く、地域の絆・まとまりがとてもよく、行事も活発に行われています。
- ・高齢者クラブ始め、各種団体の活動が充実しており、組織力が高いです。
- ・森林や農地の保全に集落全体で計画的かつ積極的に取り組んでいます。
- ・棒の手や二井寺普賢院、磨崖仏など歴史ある資源が継承されています。

押井町のめざす姿

- ・防災・防犯と環境美化に努め、安心して暮らせる基盤をつくります。
- ・次世代や外部との繋がりを深め、過疎化ストップに挑戦します。
- ・集落の力をあわせて、農地・森林や歴史・自然を守ります。



押井町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・空き家・空き地活用の推進

子育て、学び・育ち

- ・サマーフェスタの見直し、秋祭りの継続
- ・住民が集う場所づくりとして、神明神社のトイレ、駐車場の整備
- ・子どもや若い世代の力の活用、行事参加の呼びかけ

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・高齢者・子どもの声かけ、見守り運動の実施
- ・門灯点灯活動の推進
- ・通学路のグリーンラインの延長・のぼり旗の設置
- ・防災資材の備蓄
- ・災害時避難行動マニュアルの整備・周知
- ・防犯灯の見直し・再整備

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・ビオトープの整備・維持管理
- ・農作業受託事業の推進、自給家族「歴史と自然豊かな押井づくり会」推進、獣害対策の推進
- ・陰切りの推進と炭焼きの実施、花木の植栽及び管理・自宅周辺の環境美化、合併処理浄化槽の設置推進
- ・棒の手保存会への誘致、子どもを中心とした参加の呼びかけ

観光・交流

まち、歴史・文化

押井町 集落点検カルテ

所属自治区

敷島自治区

地区の概要	位置
●旧旭町の中央南部に位置し、押手と二井寺が合併し押井村となる。その後、野見村、旭村と合併を重ね、平成17年豊田市に合併し押井町となる。 ●中央を西に小沢川が流れ、川の右岸に農地があり、山麓斜面に民家が散在する。 ●集落では、過疎化により減少している人口に歯止をかけるため、集落行事の充実を図っている。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（押井・押井二井寺・押井神之辻・押井浅之久保・押井宮之前）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 19分（9.4 km）、杉本駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
人口	面積	180ha	
	計	82人	
	男性	46人	
	女性	36人	
	0～14歳	9人	
	15～64歳（30～64歳）	39人（29人）	
	65歳以上（75歳以上）	34人（17人）	
世帯数		31世帯	
平均世帯人員		2.65人/世帯	

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
(人) 男性	(人) 女性	(人) 男性	(人) 女性
平均年齢 男性 55.52歳 全体 55.94歳 女性 56.49歳		平均年齢 男性 57.43歳 全体 53.73歳 女性 49.00歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

加塩町 集落ビジョン

加塩町の良いところ

- ・各分野でリーダーとなって活躍する人が多く、人材が豊富です。
- ・「結い」の心が引き継がれ、行事も集落が一体となって行われています。
- ・農地や森林の保全にしっかり取り組んでいます。
- ・自然や温泉、文化や伝統など地域資源が豊富です。

加塩町のめざす姿

- ・「結い」の心で集落が繋がり、農地や森林が保全され、文化や伝統が守られている。
- ・集落の魅力が、若い世代や出身者にしっかりと伝わり、集落の担い手・支援者の輪が広がっている。
- ・新しい生活様式の実践を通じ、安心・安全で楽しく暮らしやすい集落が形成されている。

加塩町のおもな取組

重点取組項目 1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

子育て、学び・育ち

健康づくり

- ・誰もがいつまでも健康で暮らして行けるようにするため、健康維持のためのふれあいの場に積極的に参加

重点取組項目 2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

- ・災害時に、集落全員が安全・確実に避難できるよう、心構えと体制づくりを推進

重点取組項目 3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

観光・交流

まち、歴史・文化

- ・効率的で楽しい農業経営と美しい農地景観保全のため、集落ぐるみの営農体制づくりを推進
- ・持続可能な集落であるために、行事や伝統の継承について、集落に合った無理のないやり方で改革
- ・豊かな自然環境を次世代に確実に引き継ぐため、河川景観の保全作業を継続

加塩町 集落点検カルテ

所属自治区

敷島自治区

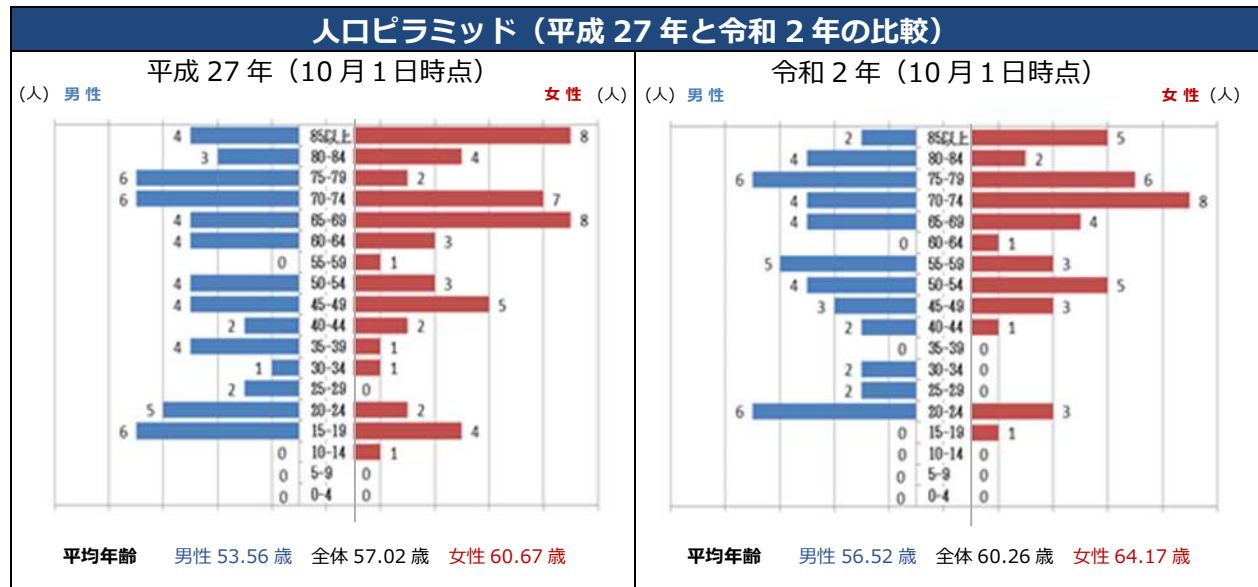
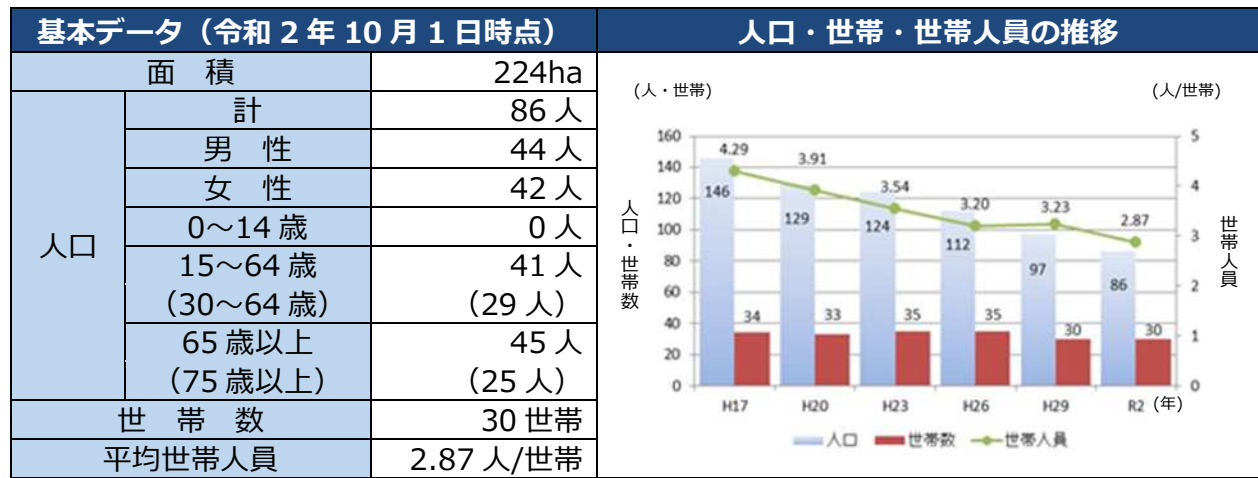
地区の概要

- 旧旭町南部に位置し、東加塩村であったが、野見村、旭村と合併を重ね、平成17年豊田市との合併により加塩町となる。
- 集落中央を加塩川と合流した阿摺川が西に流れ、川に沿った平地に農地が開け、左岸山麓斜面に民家が散在している。
- 集落には、庚申堂があり、初庚申の祭礼には、火傷封じのご利益を求めて多くの信者が参拝している。
- 老人憩の家あさひ荘を指定管理で請け負っている。

位置

地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	老人憩の家あさひ荘
交通状況	おいでんバス（加塩橋・加塩・あさひ荘前・加塩集会所南） 地域バス（加塩橋・あさひ荘前・加塩集会所）
消防・警察	足助消防署 16分（8.0 km）、杉本駐在所



※人口・世帯数は住民基本台帳による。

太田町 集落ビジョン

太田町の良いところ

- ・豊かな自然ときれいな水、田舎の田園風景がきれいです。
- ・人がいい、優しい、温かい。
- ・お米がおいしく、自然薯の味が良く生産量が一番です。
- ・祭りごとや交流イベントが盛んです。
- ・田畑や山林を荒らさないように取り組んでいます。

太田町のめざす姿

- ・太田町を愛する全ての人を温かく迎え入れ、U I ターン者と共に持続可能な暮らしが営まれるまちをめざします。
- ・のどかな農村風景を財産と考え「しきしま暮らしの作法」を守って継続に努めます。
- ・太田町の未来のために行動できる地域社会の実現に努めます。

太田町のおもな取組

重点取組項目 1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

子育て、学び・育ち

健康づくり

- ・イベントや祭りに参加して、出会いや交流を楽しむ
- ・自主グループが提供する交流事業に対し応援
- ・子どもや孫に、太田ぐらしの楽しさを伝える
- ・家や農地の今後について、家族で話し合い
- ・地域の財産である空き家や農地の有効活用

重点取組項目 2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

- ・みんなで集まってしゃべろまい！区民館での集いの場づくり
- ・太田農村公園を活用した地域ふれあいの場づくり
- ・自治区重点プロジェクトと連携して、支え合い社会創造活動の推進

重点取組項目 3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

観光・交流

まち、歴史・文化

- ・所有している農地の耕作及び管理
- ・集落ぐるみで営農の推進を図り、米の販路を開拓
- ・土地改良事業による水路等の農業施設整備を促進
- ・制度を活用した共同作業の推進（畦修繕・農道草刈等）
- ・団地化した森林の間伐を促進

太田町 集落点検カルテ

所属自治区

敷島自治区

地区の概要

位 置

地区の施設等の状況

事業所・公共施設等

交通状況

消防・警察

旧旭町のほぼ中央部に位置している。

太田川が町のほぼ中央を南北に流れ、大畑川は東へ流れ、共に介木川へ流入している。

明治 22 年の介木・生駒組合村への合併後、同 39 年には旭村に合併し、30 年以上村役場が置かれた。また、昭和 7 年 8 月まで太田小学校があった。

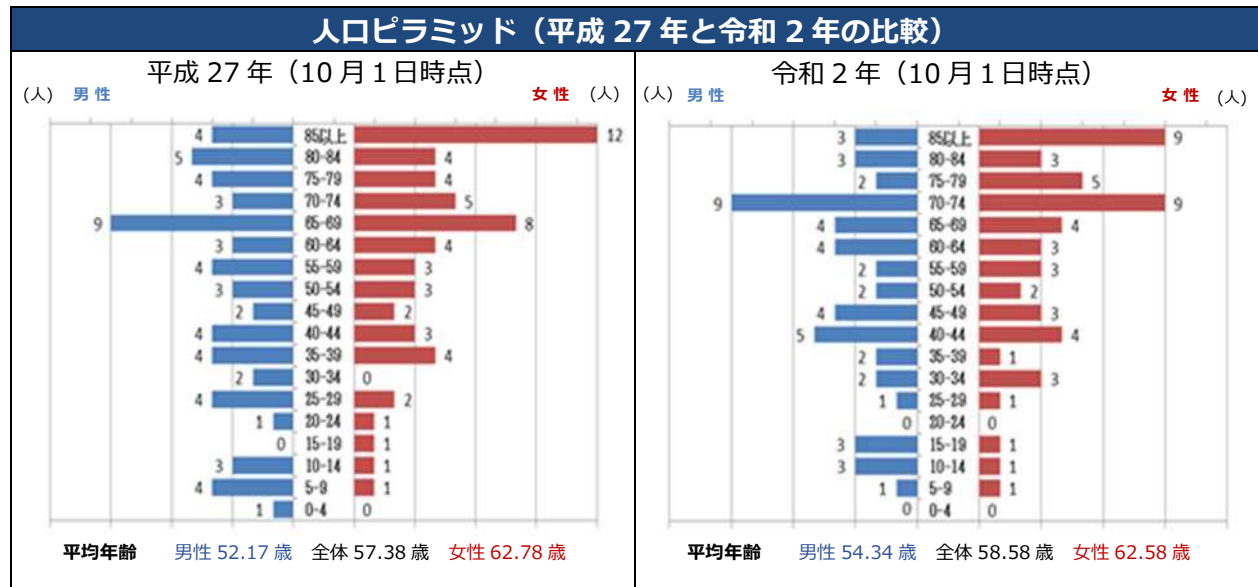
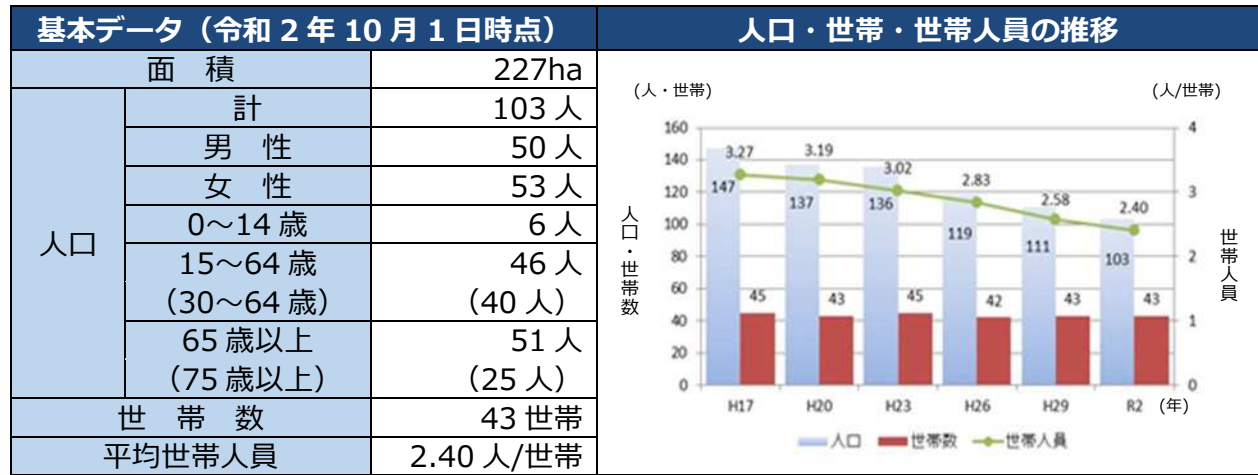
町内会の有志を中心に、わくわく事業を実施するなど、地域活動に積極的に取り組んでいる。

地図

(株)M-easy 旭事業所

地域バス（太田一升田・太田萩細・太田区民館・太田枝川・福蔵寺前）

足助消防署 旭出張所 18 分（9.0 km）、杉本駐在所



※人口・世帯数は住民基本台帳による。

第2次旭地区
まちづくり計画

集落ビジョン（2021～2025）

小田町 集落ビジョン

小田町の良いところ

- ・小規模集落だが、常会やふれあいサロンなど集まる機会があり、絆が深いです。
- ・親密別居者が集落のお付き合いに参加して盛り上げてくれます。

小田町のめざす姿

- ・高齢化がますます進む中、現状維持ができればよいが、集落で助け合っていく。

小田町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちに通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

子育て、学び・育ち

健康づくり

- ・高齢者が大半を占める中、健康づくりが必要になるため、ふれあいサロンで体力維持

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

- ・近所同士の日常的見守り
- ・災害時の声かけ、安否確認

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

観光・交流

まち、歴史・文化

- ・無理のない程度に、空き地や耕作放棄地を利用した花づくり

第2次旭地区
まちづくり計画

集落点検カルテ

小田町 集落点検カルテ

所属自治区

敷島自治区

地区の概要

- 旧旭の中央西部に位置し、山地頂上付近の山間に農地があり、これを囲むように民家が散在する。昭和24年に有間から分離し、平成17年豊田市との合併により小田町となる。
- 分離当時12戸あった民家も、過疎化により減少し、高齢化も進んでいる。

位置

地区の施設等の状況

事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（小田）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 15分（7.4km）、杉本駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）

面積	70ha
人口	計 19人
	男性 11人
	女性 8人
	0～14歳 0人
	15～64歳（30～64歳） 9人（6人）
	65歳以上（75歳以上） 10人（1人）
世帯数	7世帯
平均世帯人員	2.71人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）

平成27年（10月1日時点）

平均年齢 男性 50.45歳 全体 56.60歳 女性 64.11歳

令和2年（10月1日時点）

平均年齢 男性 52.45歳 全体 55.89歳 女性 60.63歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

明賀町 集落ビジョン

明賀町の良いところ

- ・人とのつながりを楽しみ、人とまちを大切に思う人が多い地域です。
- ・ふれあいが豊かで安心して暮らせる集落です。
- ・田舎特有の助け合いの精神があります。

明賀町のめざす姿

- ・健康で元気に暮らすことで、地域活動に参加できるまちをめざします。
- ・助け合いにより、いつまでも安心して暮らせるまちをめざします。
- ・美しい景観を保ち「ずっと住み続けたい」まちをめざします。



明賀町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・ 空き家等の提供に向けた親近者や出身者への協力呼びかけ

子育て、学び・育ち

- ・ふれあいサロンでの「元気アップ教室」実施による健康づくり

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・ご近所同士の声かけによる元気確認
- ・災害時避難行動マニュアルを活用した避難訓練の実施

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・空き地や耕作放棄地を利用した花いっぱい運動

観光・交流

まち、歴史・文化

明賀町 集落点検カルテ

所属自治区	敷島自治区
-------	-------

地区の概要		位置
●明賀は、旧旭町中央部に位置し、明治以来、介木村、旭村に合併し、平成17年豊田市との合併により明賀町となる。 ●集落中央で明賀川の流域に沿って形成された平地が二つの長い洞に別れ、この洞の山麓斜面に民家が散在している。 ●明賀町は、明治以来小渡自治区との関わりが多く、小渡小学校の学区であったが、平成9年敷島小学校の学区となり、敷島地区との交流が始まった。		
地区の施設等の状況		
事業所・公共施設等	なし	
交通状況	地域バス（下明賀・上明賀・明賀中・明賀堂）	
消防・警察	足助消防署 旭出張所 11分（5.4 km）、杉本駐在所	

基本データ（令和 2 年 10 月 1 日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
面 積		129ha	
人 口	計	34 人	
	男 性	17 人	
	女 性	17 人	
	0～14 歳	2 人	
	15～64 歳 (30～64 歳)	16 人 (13 人)	
	65 歳以上 (75 歳以上)	16 人 (8 人)	
	世 帯 数	18 世帯	
平均世帯人員		1.89 人/世帯	

年	人口	世帯数	世帯人員
H17	56	17	3.29
H20	53	20	2.65
H23	49	22	2.23
H26	39	18	2.17
H29	37	18	2.06
R2	34	18	1.89

人口ピラミッド（平成 27 年と令和 2 年の比較）

平成 27 年（10 月 1 日時点）

(人) 男性 女性 (人)

令和 2 年（10 月 1 日時点）

(人) 男性 女性 (人)

平均年齢 男性 58.68 歳 全体 60.89 歳 女性 63.94 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

惣田町 集落ビジョン

惣田町の良いところ

・町外者（七森会、惣田花樹の会）による花づくり事業の向上をめざしています。

惣田町のめざす姿

・花のある町づくりと、町内会の子どもを含めた明るい町づくりになっていること。



惣田町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちを通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

・七森会による町外協力者との和気あいあいとした町づくり

子育て、学び・育ち

・定住者と移住・転入者との交流の向上に力を入れる
・ふれあいサロンへの呼びかけ

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

・防災訓練のあり方を考えた出役を実施

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

・わくわく事業を実施する花樹の会の会員増強を進め、子どもを含めた花のある明るい町づくりに力を入れていく

観光・交流

・しだれ桃・レンギョウ・彼岸花・チューリップなどの手入れ

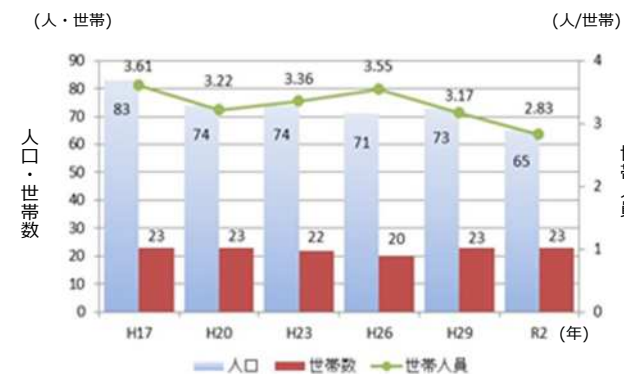
まち、歴史・文化

惣田町 集落点検カルテ

所属自治区 築羽自治区

地区の概要	位置
●惣田は、旧旭町南部に位置し、明治以来、築羽村、旭村に合併を重ね、平成17年豊田市との合併により惣田町となる。 ●集落は、介木川上流の平地から4か所に洞が延びており、民家は緩やかな山麓斜面に分布している。 ●集落には、津嶋神社所有のイチヨウの木（市指定天然記念物）と水田が30aあり、氏子が協力して耕作している。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	旭フラワーセンター ビニールハウス
交通状況	地域バス（惣田・惣田名々瀬）
消防・警察	足助消防署20分（10.2km）、模本駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
人口	面積	107ha	
	計	65人	
	男性	34人	
	女性	31人	
	0～14歳	8人	
	15～64歳（30～64歳）	27人（22人）	
	65歳以上（75歳以上）	30人（18人）	
世帯数		23世帯	
平均世帯人員		2.83人/世帯	



人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
（人）男性	女性（人）	（人）男性	女性（人）
6	9	4	5
3	1	3	2
4	3	3	3
4	3	2	6
2	5	2	1
2	1	2	2
2	2	1	1
1	1	1	1
2	1	2	1
2	1	2	1
1	1	1	1
1	1	1	1
3	1	3	2
1	0	1	0
1	2	1	2
1	0	1	2
1	2	3	1
2	2	2	0

平均年齢 男性 55.73歳 全体 57.40歳 女性 59.11歳

平均年齢 男性 49.24歳 全体 54.31歳 女性 59.87歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

小畑町 集落ビジョン

小畑町の良いところ

- ・まちづくりに必要な経験者から若者等へ縦のつながり、農業未経験者へ農作業の助言等の横のつながりもできており、互いに認め合い、支え合っています。
- ・永続される大祭、法要等の年行事に楽しく無理なく参加できています。
- ・日時、場所を問わず誰とでも挨拶ができる環境です。

小畑町のめざす姿

- ・若い世代が地域に定着し高齢者と共存できて、お互いに安心・安全に生活できるまちづくりをめざします。
- ・集落内の和を大切にして地域の絆を深めます。
- ・地域の景観を保ち伝統等を理解し、愛着と誇りをもって安心して暮らせる地域づくりを進めます。

小畑町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・空き家移住者への農地情報、町内事業概要等を提供し住民全体の共働をめざす

子育て、学び・育ち

- ・ふれあいサロンでの「元気アップ教室」実施による健康づくり

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・近所付き合いを密にして、高齢者への気配りを図る
- ・ご近所同士の声かけによる元気確認

道路・交通、生活

- ・災害時避難行動マニュアルを活用した避難訓練の実施

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・鳥獣等による農作物被害防止のため設置された対策施設の維持管理

観光・交流

- ・農地保全のための補助金等の活用による景観の保持
- ・空き地や耕作放棄地を利用した花いっぱい運動

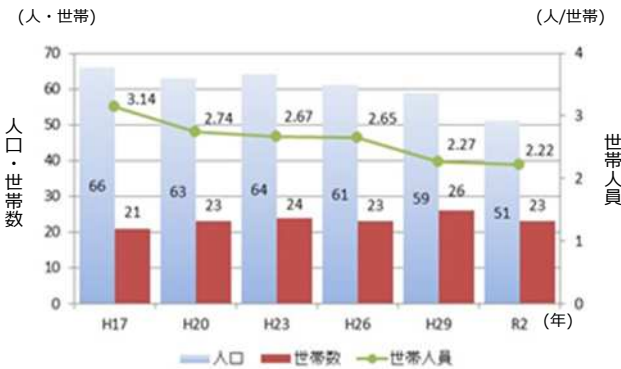
まち、歴史・文化

小畑町 集落点検カルテ

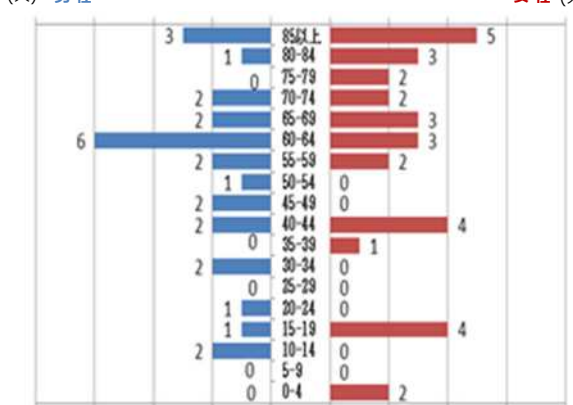
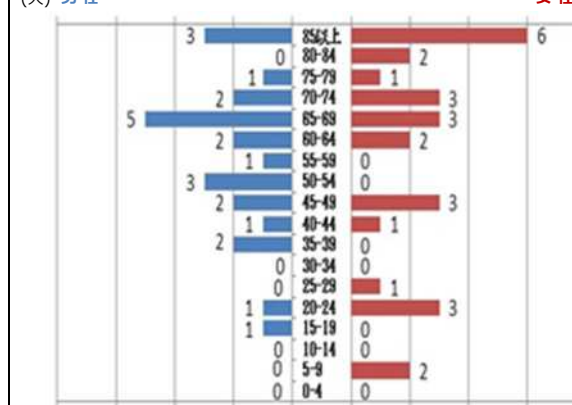
所属自治区 築羽自治区

地区の概要	位置
●小畑は、旧旭町の南東部に位置し、明治以来築羽村、旭村に合併を重ね、平成17年豊田市との合併により小畑町となる。 ●集落南東部から、小畑川が北西に流れ、介木川に合流する地点にかけて平地があり、その平地及び山麓斜面に民家が散在している。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（小畑・上小畑・小畑公会堂）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 22分（11.0 km）、榎本駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
面積		人口・世帯・世帯人員の推移	
人口	計	128ha	
	男性	24人	
	女性	27人	
	0～14歳	2人	
	15～64歳 (30～64歳)	23人 (17人)	
	65歳以上 (75歳以上)	26人 (13人)	
世帯数		23世帯	
平均世帯人員		2.22人/世帯	



年	人口	世帯数	世帯人員
H17	66	21	3.14
H20	63	23	2.74
H23	64	24	2.67
H26	61	23	2.65
H29	59	26	2.27
R2	51	23	2.22

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）	
平成27年（10月1日時点）	令和2年（10月1日時点）
	
平均年齢 男性 54.74歳 全体 56.10歳 女性 57.29歳	平均年齢 男性 59.67歳 全体 59.88歳 女性 60.07歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

伊熊町 集落ビジョン

伊熊町の良いところ

- ・伊熊神社の社叢を始めとする豊かな自然環境があります。
- ・地域ぐるみの農地・森林保全活動に積極的に取り組んでいます。
- ・元気な高齢者が多いまちです。
- ・近所の方と顔の見える関係性があり、伊熊出身者との交流も続いています。
- ・次世代の子どもが増え人口バランスが良くなっています。

伊熊町のめざす姿

- ・町内のつながりを大切にしながら、みんな元気で暮らします。
- ・近隣の町とも協力し若い人が暮らしやすいまちをめざします。
- ・地域資源を活用し心豊かな暮らしをめざします。
- ・交流を通して次世代の担い手をつくります。
- ・遊休農地をなくします。

伊熊町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・空き家等の提供に向けた親近者や出身者への協力呼びかけ

子育て、学び・育ち

- ・ふれあいサロンでの「元気アップ教室」実施による健康づくり

健康づくり

- ・町内行事に参加し健康増進

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・ご近所同士、昼間独居者への声かけによる安否確認
- ・近場の「あんじゃない」施設の利用

道路・交通、生活

- ・災害時避難行動ハザードマップを活用した避難訓練の実施

防災、交通安全・防犯

- ・町外に住む子息との連絡網の確立

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・空き地や耕作放棄地を利用した花いっぱい運動
- ・山の手入れをし、魅力ある山にする

観光・交流

- ・子どもが楽しめる（子ども神輿の継続）祭りにする
- ・歴史の内から伊熊町の魅力を再発見し維持する活動

まち、歴史・文化

伊熊町 集落点検カルテ

所属自治区 築羽自治区

地区の概要	位置
●昔の上伊熊村と下伊熊村が合併し、現在の集落形態ができ、豊田市との合併により、伊熊町となった。 ●築羽地域の南西部に位置し、集落中央部の公会堂を中心に、八手の葉状に農地があり、この農地に沿って民家が建っている。築羽地域では、日下部町と並んで民家が多いが、高齢者世帯が多くなっている。 ●集落には、伊熊神社社叢（愛知県自然環境保全地域）があり貴重な植物が自生している。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（伊熊・伊熊西・伊熊南・伊熊町北）
消防・警察	足助消防署20分（9.9 km）、榎本駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
人口	面積	145ha	
	計	62人	
	男性	28人	
	女性	34人	
	0～14歳	11人	
	15～64歳（30～64歳）	17人（14人）	
	65歳以上（75歳以上）	34人（20人）	
世帯数		25世帯	
平均世帯人員		2.48人/世帯	

（人・世帯）

（人/世帯）

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
（人）男性	（女性）（人）	（人）男性	（女性）（人）
平均年齢 男性 62.29歳 全体 63.00歳 女性 63.71歳		平均年齢 男性 54.46歳 全体 55.44歳 女性 56.24歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

伯母沢町 集落ビジョン

伯母沢町の良いところ

- ・妙義神社や十一面観音菩薩像などの歴史的文化財の保全に取り組んでいます。
- ・毎月の常会を開催したり、近所づきあいによる高齢者への声かけを行うなど、家族的な絆があります。

伯母沢町のめざす姿

- ・集落の宝「歴史ある文化財」を生かした地域交流を続けていきます。
- ・日ごろの絆を大切に、安心して暮らせる集落づくりを進めます。
- ・集落みんなで、美しい景観と豊かな自然を守り育てます。



伯母沢町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・町内出身者・親近者等へ、妙義神社例大祭、十一面観音菩薩御開帳の開催など、町内行事等への案内・協力の呼びかけ

子育て、学び・育ち

- ・家族や仲間同士でのウォーキング等、健康づくりの推進

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・ご近所同士の日常的な声かけと高齢者世帯の見守り
- ・集落ぐるみでの生活道路の保全活動（草刈り、支障木伐採等）の継続
- ・防災マップを利用した防災訓練

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・獣害対策の推進、集落営農の検討
- ・妙義神社や天然記念物（大銀杏、ツガ）等の景観の維持・管理の継続
- ・伯母沢流打ち囃子の継承

観光・交流

まち、歴史・文化



伯母沢町 集落点検カルテ

所属自治区 築羽自治区

地区の概要	位置
●伯母沢は、旧旭町の中央部に位置し、明治以来、築羽村、旭村に合併し、平成17年豊田市との合併により伯母沢町となる。 ●南部には細長い洞が、八幡からの平地とつながっていて、平地北側の山麓斜面と山を越えた北部の洞に、合わせて20戸ほどの民家があったが、過疎化と高齢化により11戸に減少している。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（伯母沢・伯母沢口）
消防・警察	足助消防署 旭出張所20分（9.9 km）、楨本駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
人口	面積	81ha	
	計	30人	
	男性	14人	
	女性	16人	
	0～14歳	2人	
	15～64歳（30～64歳）	13人（12人）	
	65歳以上（75歳以上）	15人（9人）	
世帯数		14世帯	
平均世帯人員		2.14人/世帯	
		人口・世帯数（人・世帯）	

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）	
平成27年（10月1日時点）	令和2年（10月1日時点）
平均年齢 男性 48.14歳 全体 54.66歳 女性 59.72歳	平均年齢 男性 52.93歳 全体 60.00歳 女性 66.19歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

榎本町 集落ビジョン

榎本町の良いところ

- ・高齢化が進んでいるが、跡取り世代の夫婦・子どもの定着や親密別居者も多い地域です。
- ・榎友会、たんぽぽ会といった親睦会的な仲良しグループがあります。
- ・常福寺、榎本城址など文化的な資源があります。特に榎本城は価値の高い中世の山城です。

榎本町のめざす姿

- ・みんなが楽しめる活動を継続し、はりのある暮らしと住民同士の絆を深めます。
- ・日ごろから防災意識を持ち、高齢者の様子を気にしながら、支え合い、助け合いにより安心して暮らせるまちをめざします。
- ・無理なく農村景観の保全に努めるほか、お祭りや習わしを次世代のために守り続けます。

榎本町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・榎友会・たんぽぽ会等の活動を通じて、楽しさとはりのある暮らしを継続

子育て、学び・育ち

- ・住民同士で支え合える関係性を維持

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・高齢者の様子を常に気にかけることにより、高齢期を迎えても安心して暮らせる地域づくり

道路・交通、生活

- ・災害発生に備えて、住民の防災意識を向上し、自助、共助の精神に基づく地域防災活動の推進

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・各家で農地を維持し、美しい農村風景を守る
- ・お祭り等の地域文化を守り伝えていくために、簡素化しながら無理なく保全・保存活動を推進

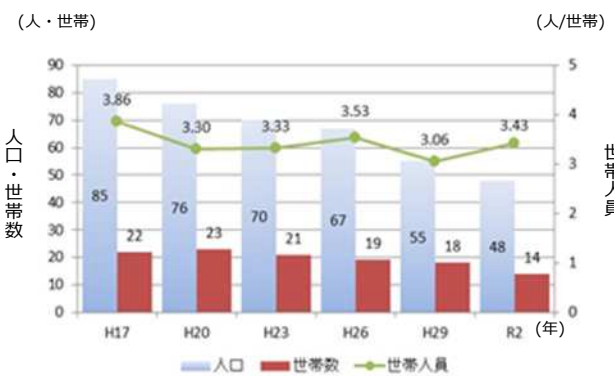
観光・交流

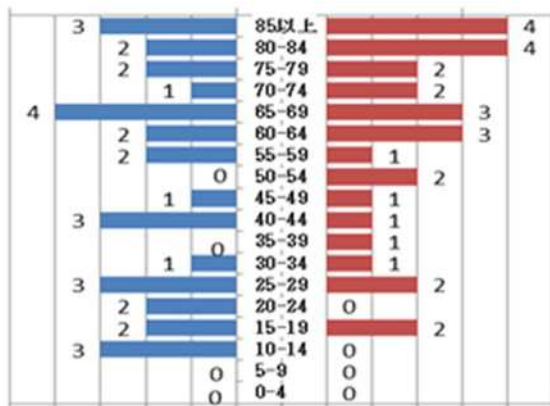
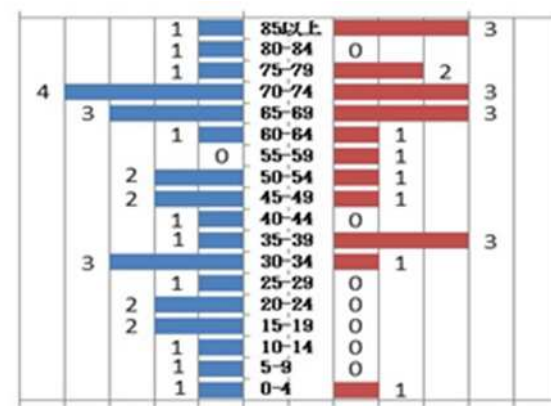
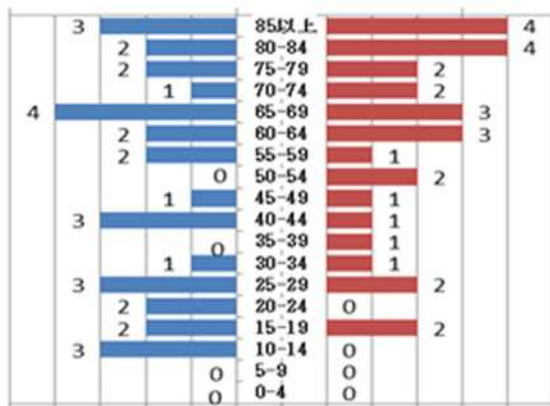
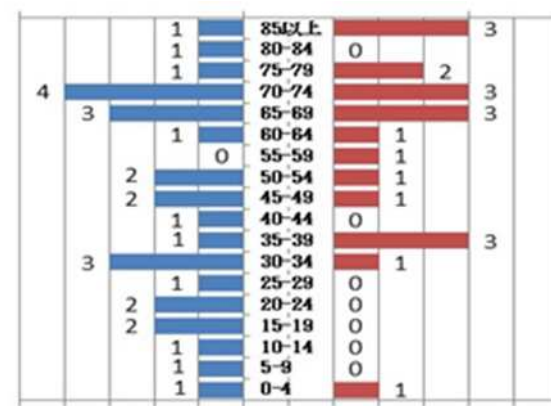
まち、歴史・文化

榎本町 集落点検カルテ

所属自治区 築羽自治区

地区の概要	位置
● 榎本は、旧旭町の中央南東部に位置し、明治以来、築羽村、旭村と合併を重ね、平成 17 年豊田市との合併により榎本町となる。 ● 築羽村当時、役場、小学校があり、この地域の中心地となっていた。明治 40 年には、駐在所も開設された。現在も、築羽地区の中心地として、築羽会館が設置されている。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	築羽会館、つくば工房、榎本駐在所
交通状況	地域バス（築羽会館）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 19 分（9.7 km）、榎本駐在所

基本データ（令和 2 年 10 月 1 日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
面積	57ha		
人口	計	48 人	
	男性	28 人	
	女性	20 人	
	0～14 歳	4 人	
	15～64 歳 (30～64 歳)	23 人 (18 人)	
	65 歳以上 (75 歳以上)	21 人 (8 人)	
世帯数		14 世帯	
平均世帯人員		3.43 人/世帯	

人口ピラミッド（平成 27 年と令和 2 年の比較）			
平成 27 年（10 月 1 日時点）		令和 2 年（10 月 1 日時点）	
(人) 男性	(人) 女性	(人) 男性	(人) 女性
			
平均年齢 男性 50.77 歳 全体 55.93 歳 女性 61.45 歳		平均年齢 男性 46.64 歳 全体 52.04 歳 女性 59.60 歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

日下部町 集落ビジョン

日下部町の良いところ

- ・観光名所である最光院の梅園があり、春には満開で華やかになります。
- ・中山間地域等直接支払制度や多面的機能支払制度、森づくり推進事業などを活用し、地域ぐるみの農地・森林保全活動などを積極的に行い、環境整備に取り組んでいます。

日下部町のめざす姿

- ・日ごろのつきあいを基本に、地域のつながりを大切にします。
- ・みんなで協力しながら、すばらしい自然環境を守ります。
- ・高齢者が元気で安心して暮らせるまちづくりを進めます。



日下部町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・住民同士の情報交換の場として、毎月1回開催している常会を継続

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・ご近所同士の声かけによる元気確認
- ・毎月の上納帳配布時に様子を確認
- ・災害時避難行動マニュアルを活用した避難訓練の実施

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・地域で農地保全に努め耕作を継続
- ・耕作放棄地に梅を植栽し景観維持

観光・交流

まち、歴史・文化

日下部町 集落点検カルテ

所属自治区 築羽自治区

地区の概要	位置
●日下部は、旧旭町の南東部に位置し、明治以来、築羽村、旭村に合併を重ね、平成17年豊田市との合併により日下部町となる。 ●集落西部で洞が二つに分断され、民家は各洞の山麓斜面に散在している。 ●近年、わくわく事業を利用して集落内最光院の梅林の公園化が進み、毎年3月中下旬に開催の梅まつりには、多くの観光客が訪れている。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（日下部・日下部上・日下部蔵ヶ入・日下部滑入・日下部薊田・日下部東平）
消防・警察	足助消防署 旭出張所20分（10.2km）、榎本駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
面積	338ha		
人口	計		
	男性		
	女性		
	0～14歳		
	15～64歳 (30～64歳)		
	65歳以上 (75歳以上)		
世帯数	28世帯		
平均世帯人員	2.29人/世帯		

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）	
平成27年（10月1日時点）	令和2年（10月1日時点）
(人) 男性 女性 (人) 平均年齢 男性 59.90歳 全体 61.11歳 女性 61.93歳	(人) 男性 女性 (人) 平均年齢 男性 57.27歳 全体 60.44歳 女性 62.10歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

坪崎町 集落ビジョン

坪崎町の良いところ

- ・自然が壊れておらず、夜空がきれい、水がきれいななど、豊かな自然に触れることができる。
- ・地生えのしだれ桃の植栽や道路脇の山野草の管理をすることで美しい農村景観が保全されています。

坪崎町のめざす姿

- ・ 3戸の小さな集落でも住民が生き生きと暮らしていること。
- ・ 集落内の環境整備、草刈り、片付け等を高齢者も手伝って実施していく。



坪崎町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・高齢者の楽しみやすい場所づくり

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・高齢者の見守り支援
- ・親密別居者の協力を得て、県道・市道の草刈り、その他の奉仕作業を実施

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・ しだれ桃や山野草の手入れによる景観保全
- ・ 集会所や広場の管理
- ・ 神社仏閣の維持管理

觀光・交流

まち、歴史・文化

坪崎町 集落点検カルテ

所属自治区	筑羽自治区
-------	-------

地区の概要		位 置
●旧旭町の東部で南東に細長く位置し、他地域から隔絶された集落で、北部にわずかな農地があり、農地周辺に民家が散在する。以前は、8 ha ほどあった農地も、過疎化と鳥獣害のため、家庭菜園としてわずかに畑作が行われているのみである。 ●集落には、県無形文化財に指定された「火きり神事」の行事が継承されているが、過疎化と高齢化のため、火きりの方法を変更して何とか維持している。		
地区の施設等の状況		
事業所・公共施設等	なし	
交通状況	地域バス（坪崎・坪崎地藏堂・坪崎神明社口）	
消防・警察	足助消防署 旭出張所 2 6 分（13.1 km）、楨本駐在所	

基本データ（令和 2 年 10 月 1 日時点）		
面 積		311ha
人 口	計	5 人
	男 性	2 人
	女 性	3 人
	0～14 歳	0 人
	15～64 歳 (30～64 歳)	1 人 (1 人)
	65 歳以上 (75 歳以上)	4 人 (3 人)
世 帯 数		4 世帯
平均世帯人員		1.25 人/世帯

人口・世帯・世帯人員の推移 (単位: 人・世帯)

人口 (人・世帯) の推移 (単位: 人/世帯)

年	人口 (人)	世帯数 (世帯)	世帯人員 (人/世帯)
H17	17	6	2.83
H20	15	6	2.50
H23	11	6	1.83
H26	10	5	2.00
H29	7	4	1.75
R2	5	4	1.25

人口ピラミッド（平成 27 年と令和 2 年の比較）

平成 27 年（10 月 1 日時点）

(人) 男性 女性 (人)

年齢	男性 (人)	女性 (人)
85以上	1	2
80-84	1	1
75-79	1	0
70-74	1	0
65-69	0	1
60-64	0	0
55-59	1	0
50-54	0	0
45-49	1	0
40-44	0	0
35-39	0	0
30-34	0	0
25-29	0	0
20-24	0	0
15-19	0	0
10-14	0	0
5-9	0	0
0-4	0	0

令和 2 年（10 月 1 日時点）

(人) 男性 女性 (人)

年齢	男性 (人)	女性 (人)
85以上	0	2
80-84	0	0
75-79	1	0
70-74	0	1
65-69	0	0
60-64	0	0
55-59	0	0
50-54	1	0
45-49	0	0
40-44	0	0
35-39	0	0
30-34	0	0
25-29	0	0
20-24	0	0
15-19	0	0
10-14	0	0
5-9	0	0
0-4	0	0

平均年齢 男性 70.33 歳 全体 73.50 歳 女性 78.25 歳

平均年齢 男性 64.50 歳 全体 75.00 歳 女性 82.00 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

旭八幡町 集落ビジョン

旭八幡町の良いところ

- ・住民みんなが無理せず生き生きと楽しく暮らしていける集落です。
- ・昔からずっと変わらない農林業を基にした住民の生活は、小さなまちならではのふれあい豊かで安心できる暮らしを続けています。

旭八幡町のめざす姿

- ・これまでの諸行事を無理せず維持、継続して行っていきたい。
- ・住民の健康を大切に「思いやる」ことができ、「心に余裕のある生活」ができるまちをめざしたい。
- ・空き家への入居を働きかけていく。
- ・貴重な天然資源、八幡神社の無理のない維持をしていく。

旭八幡町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・空き家等の提供に向けた親近者や出身者への協力呼びかけを行い、住民が増加する方策を推進

子育て、学び・育ち

- ・春秋の環境整備、神社祭、その他各行事を通して住民参加のまちづくりを推進

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・ご近所同士の声かけによる元気確認
- ・災害時避難行動マニュアルを活用した避難訓練の実施

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・中山間地域等直接支払制度等を活用した集落営農の検討、促進

観光・交流

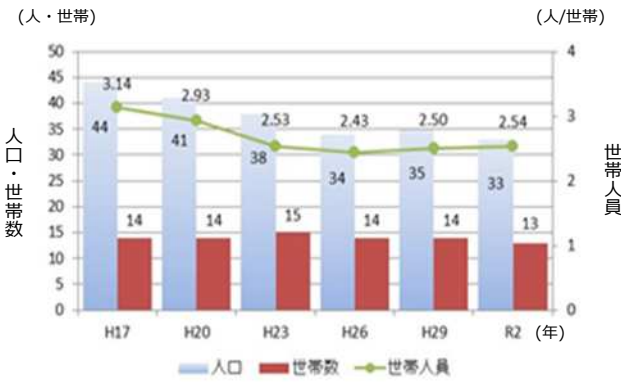
まち、歴史・文化

- ・森づくり会議による山林保全の継続
- ・ツクバネ、カタクリの自生地保全・管理
- ・郷社八幡神社大祭の持続に向けた検討

旭八幡町 集落点検カルテ

所属自治区 築羽自治区

地区の概要	位置
● 昔の岡村と高蔵村が合併し、八幡村となり現在の集落の形ができた。 ● 築羽地区を流れる介木川中流域の中央部に位置し、川の両側にある農地を囲むように民家が点在している。 ● 集落内には、つくラッセル及び八幡神社がある。神社境内には、市指定天然記念物の、サクライソウ、ツクバネが自生している。 ● 過疎化により人口が減少し、高齢者のみの世帯が多くなっている。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	旭高原自然活用村、つくラッセル（旧・築羽小学校）、(有)増田建設、農業生産法人あさひフラワーセンター（シンビジウム）、あさひ製材
交通状況	地域バス（旭八幡・旭八幡沢畑・旭八幡蕨野・旭高原・つくラッセル前）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 17分（8.8km）、榎本駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
人口	面積	266ha	
	計	33人	
	男性	15人	
	女性	18人	
	0～14歳	0人	
	15～64歳 (30～64歳)	13人 (11人)	
	65歳以上 (75歳以上)	20人 (12人)	
世帯数		13世帯	
平均世帯人員		2.54人/世帯	

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）	
平成27年（10月1日時点）	令和2年（10月1日時点）
	
平均年齢 男性 68.62歳 全体 68.41歳 女性 68.29歳	平均年齢 男性 69.53歳 全体 63.30歳 女性 63.61歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

余平町 集落ビジョン

余平町の良いところ

- ・住民同士が仲良くとてもまとまりがあります。
- ・豊かな自然環境と美しい田園風景が広がるまちです。
- ・北向き地蔵様など歴史と伝統があるまちです。
- ・地域の女性が元気よくまとまりがあります。

余平町のめざす姿

- ・安全、安心なまち



余平町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちを通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・町内の移動は車を使わず歩くようにする

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・住民同士声を掛け合って健康状態を確認し合う

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・町内、田畑、家の周りの草刈りを積極的に行い、景観をよくする

観光・交流

まち、歴史・文化

余平町 集落点検カルテ

所属自治区 築羽自治区

地区の概要	位置
●余平は、旧旭町の中央東部寄りに位置し、明治以来、介木村、旭村に合併を重ね、平成17年豊田市との合併により余平町となる。 ●集落は、介木川の中流に位置し、川の両側の山麓斜面に民家が散在している。 ●集落には、他の集落のような組分けの組織がない。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（余平）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 15分（7.6km）、模本駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
面積	155ha		
人口	計	34人	
	男性	17人	
	女性	17人	
	0～14歳	4人	
	15～64歳 (30～64歳)	11人 (11人)	
	65歳以上 (75歳以上)	19人 (10人)	
世帯数		13世帯	
平均世帯人員		2.62人/世帯	

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）	
平成27年（10月1日時点）	令和2年（10月1日時点）
平均年齢 男性 55.76歳 全体 58.52歳 女性 61.44歳	平均年齢 男性 59.59歳 全体 61.09歳 女性 62.59歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

島崎町 集落ビジョン

島崎町の良いところ

- ・矢作川に面し南側に開けた比較的陽当たりの良い土地で、古い習慣に囚われることなく、新規の永住者、移住者に対する理解もあり、平穏で暮らしやすい町内です。
- ・河川敷公園内の周回道路には、町民がウォーキング、ジョギングをしている姿が見られ健康的な地域です。

島崎町のめざす姿

- ・高齢化による人口減少やひとり世帯の増加に対する懸念がされる中、緊急時に、河川敷公園の一部をドクターヘリ・防災ヘリのランデブーポイントとして地域全体の防災医療に活用できればよい。



島崎町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・ウォーキング、ジョギングによる健康づくり

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・昔からあるお節介焼きの気持ちを持って、ご近所の夜の明かり、自家用車の出入り、畑の草の伸び具合などの生活環境の変化を見落とさない住民ネットワークで、健康や安否の確認

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

- ・県道島崎豊田線の崩落防止の改良促進

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

観光・交流

まち、歴史・文化



島崎町 集落点検カルテ

所属自治区 浅野自治区

地区の概要	位置
●島崎は、旧旭町の中央北西部に位置し、野原村（三濃村）下切の一部であったが、村役場からの通達が頻繁となり、昭和30年旭村に合併した際、大字島崎となり、平成17年豊田市への合併により島崎町となる。現在でも下切町とは、密接な関係にあり、公民館も共同利用している。下切町に農地を持つ農家があり、用水にも加入している。 ●矢作川が集落の南部を流れ、急な山のふもとに民家が3箇所に分れて分布しているが、和合地区には空き家が多い。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	安藤工務(株)（建設業）、(有)シバ興業（建設業）、三嶋産業（製造業）
交通状況	地域バス（島崎口・島崎・島崎町石原）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 6分（3.1 km）、浅谷駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
人口	面積	69ha	
	計	63人	
	男性	31人	
	女性	32人	
	0～14歳	1人	
	15～64歳（30～64歳）	30人（23人）	
	65歳以上（75歳以上）	32人（18人）	
世帯数		29世帯	
平均世帯人員		2.17人/世帯	

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
(人) 男性	(人) 女性	(人) 男性	(人) 女性
平均年齢 男性 61.36歳 全体 59.47歳 女性 57.58歳		平均年齢 男性 60.32歳 全体 60.92歳 女性 61.50歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

下切町 集落ビジョン

下切町の良いところ

- ・主要地方道豊田明智線が東西に走り、車の往来も多く便が良いです。
- ・耕作地が矢作川沿いの南向き斜面に位置し、きれいな水、長い日照時間、大きな日温格差など、農産物の生産に適しています。
- ・「瞽女塚」「抱き弘法」「なまずさん」などの民話の舞台があります。

下切町のめざす姿

- ・高齢者等が、安心して、生きがいを持って生活できる地域をつくります。
- ・都市で生活する後継者との絆を深め、Uターンしやすい環境を整えます。
- ・優良農地を荒廃させることなく、農産物の生産を継続します。



下切町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・ふれあいサロンの開設
- ・高齢者等のサロンや直売所への参加の声かけ

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・救急隊の緊急出動時のために、あさひ緊急時連絡先情報カードを活用

道路・交通、生活

- ・民生委員、町内会役員等によるひとり暮らしの方への訪問を重ね、町外で暮らす別居家族との交流を密にしてつながりを強固にする

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・農産物直売所の運営
- ・販売する農産物の充実

観光・交流

- ・県道法面の花木植栽の実施と保全・管理
- ・県道法面の草刈り作業の実施

まち、歴史・文化

下切町 集落点検カルテ

所属自治区 浅野自治区

地区の概要	位置
●下切は、旧旭町の中央北部に位置し、南部を矢作川が流れ、土石流体積の平地に農地があり、山麓斜面に民家が分布している。 ●野原村下切であったが、三濃村、旭村と合併を重ね、平成17年豊田市との合併により下切町となる。 ●明智と足助を結ぶ街道がとおっていて、矢作川を小渡に渡る渡し舟があったが、大正8年につり橋ができ廃止された。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	小渡小学校、小渡こども園、旭総合体育館
交通状況	地域バス（下切・野田久保・旭総合体育館）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 4分（2.0 km）、浅谷駐在所

基本データ（令和 2 年 10 月 1 日時点）			人口・世帯・世帯人員の推移																														
面 積		73ha	人口・世帯数 世帯人員 <table><thead><tr><th>年</th><th>人口</th><th>世帯数</th><th>世帯人員</th></tr></thead><tbody><tr><td>H17</td><td>104</td><td>33</td><td>3.15</td></tr><tr><td>H20</td><td>91</td><td>32</td><td>2.84</td></tr><tr><td>H23</td><td>102</td><td>34</td><td>3.00</td></tr><tr><td>H26</td><td>101</td><td>35</td><td>2.89</td></tr><tr><td>H29</td><td>100</td><td>35</td><td>2.86</td></tr><tr><td>R2</td><td>89</td><td>30</td><td>2.97</td></tr></tbody></table>			年	人口	世帯数	世帯人員	H17	104	33	3.15	H20	91	32	2.84	H23	102	34	3.00	H26	101	35	2.89	H29	100	35	2.86	R2	89	30	2.97
年	人口	世帯数				世帯人員																											
H17	104	33				3.15																											
H20	91	32				2.84																											
H23	102	34				3.00																											
H26	101	35				2.89																											
H29	100	35				2.86																											
R2	89	30				2.97																											
人口	計	89 人																															
	男 性	42 人																															
	女 性	47 人																															
	0～14 歳	9 人																															
	15～64 歳 (30～64 歳)	39 人 (27 人)																															
	65 歳以上 (75 歳以上)	41 人 (15 人)																															
世 帯 数		30 世帯																															
平均世帯人員		2.97 人/世帯																															

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
(人) 男性	(人) 女性	(人) 男性	(人) 女性
平均年齢 男性 49.04歳 全体 50.34歳 女性 51.54歳		平均年齢 男性 53.62歳 全体 52.69歳 女性 51.85歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

下中町 集落ビジョン

下中町の良いところ

- ・隣近所の高齢者への声かけなど、横のつながりを大切にしています。
- ・集会所、庚申閣が同一敷地にあり、住民が集う場所があります。
- ・集落内にしだれ桃が多く植栽されています。

下中町のめざす姿

- ・集会所、庚申閣に駐車場を確保するなどして、人が集まりやすい環境づくりをめざします。
- ・人が集まることにより横の関係をつなげていきます。



下中町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちを通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・みんなが気軽に集まり、楽しめる環境づくり

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・ご近所同士の声かけによる元気確認

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・しだれ桃群落の草刈り、施肥などの維持管理を行い景観を守っていく

観光・交流

まち、歴史・文化

下中町 集落点検カルテ

所属自治区 浅野自治区

地区の概要	位置
●昔は、岐阜県の野原村下中切であったが、明治の三濃村への合併、昭和9年に上中切の一部字久々里木にあった民家3戸を下中切に編入、昭和30年の旭村への合併を経て、豊田市への合併により下中町となる。 ●旧旭町の北西部の山腹に農地を開墾し、洞々に民家が散在しているが、高齢世帯が増加している。 ●集落には、三光山庚申閣があり、火傷封じ・失せもの祈願で信仰深く毎年初庚申には、近郷から多くのお参りがあった。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（下中・下中上・下中真坂・下中久々里木）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 6分（2.8 km）、浅谷駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
面積	125ha		
人口	計	36人	
	男性	20人	
	女性	16人	
	0～14歳	0人	
	15～64歳 (30～64歳)	14人 (12人)	
	65歳以上 (75歳以上)	22人 (12人)	
世帯数		20世帯	
平均世帯人員		1.80人/世帯	

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
(人) 男性	(人) 女性	(人) 男性	(人) 女性
平均年齢 男性 59.41歳 全体 61.52歳 女性 64.88歳		平均年齢 男性 60.25歳 全体 66.11歳 女性 73.44歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

上中町 集落ビジョン

上中町の良いところ

・地域や組織にしばられずに、個々にそれぞれ気の合う者同士が、日々の暮らしの中で関係を深め楽しく生活しています。

上中町のめざす姿

- ・町内会活動の最小限化を模索していきます。
- ・住民同士が繋がりを大切にしながら安心して暮らせる地域づくりをします。
- ・生きがいや楽しみを持ちながら、生き生きと暮らしていける地域をつくります。

上中町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちを通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

・県道、市道の草刈りを住民参加の作業として継続

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

・あさひ緊急時連絡情報カードの定期的更新

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

・夏と秋の県道、市道の草刈り作業を継続して景観の保全

観光・交流

まち、歴史・文化

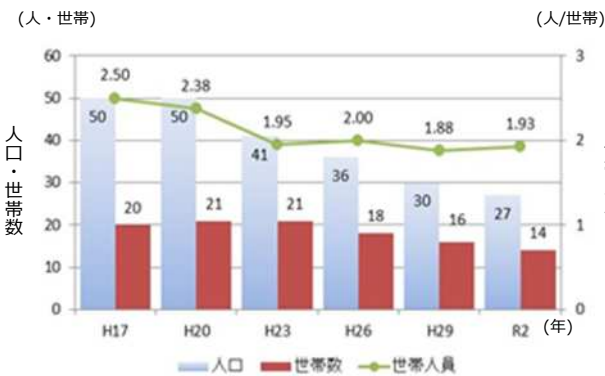
上中町 集落点検カルテ

所属自治区 浅野自治区

地区の概要	位置
● 昔は、岐阜県の野原村上中切であったが、昭和30年の旭村への合併、平成17年の豊田市への合併により上中町となる。昭和9年下中切に隣接する字久々里木にある民家3戸が、下中切に合併した。 ● 集落は、旧旭町の北西部の山頂に近い洞に民家が散在し、老朽化した空き家が目立つ。 ● 40年ほど前から各戸が趣味で植えていたしだれ桃が見頃をむかえ、小桃源郷となり観光スポットになっている。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（上中秀沢・上中辻・上中花ノ木・上中菅ノ沢・上中西羽根・上中井の口）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 8分（4.2 km）、浅谷駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
人口	面積	114ha	
	計	27人	
	男性	11人	
	女性	16人	
	0～14歳	0人	
	15～64歳 (30～64歳)	12人 (12人)	
	65歳以上 (75歳以上)	15人 (9人)	
世帯数		14世帯	
平均世帯人員		1.93人/世帯	

(人・世帯) (人/世帯)



年	人口 (人)	世帯数 (世帯)	世帯人員 (人/世帯)
H17	50	20	2.50
H20	50	21	2.38
H23	41	21	1.95
H26	36	18	2.00
H29	30	16	1.88
R2	27	14	1.93

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）	
平成27年（10月1日時点）	令和2年（10月1日時点）
(人) 男性 (人) 女性  平均年齢 男性 63.94歳 全体 70.14歳 女性 75.68歳	(人) 男性 (人) 女性  平均年齢 男性 60.55歳 全体 68.33歳 女性 73.69歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

上切町 集落ビジョン

上切町の良いところ

- ・高齢者が安心して暮らせるまちづくりをしています。
- ・秋祭りの伝承に取り組んでいます。
- ・耕作放棄地の拡大を防止しています。
- ・あさひ緊急時連絡先情報カードを活用しています。

上切町のめざす姿

- ・健康で元気に暮らせるまちづくり
- ・安全で安心して暮らせるまちづくり
- ・秋祭りの充実と伝承
- ・耕作放棄地、空き家周辺等の環境整備



上切町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちに通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・ふれあいサロンを実施することで高齢者の健康維持
- ・サロン参加者の拡大、呼びかけ

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・一人暮らしの家庭に対し安否確認札の作成
- ・災害時避難行動マニュアルを活用した訓練実施、

道路・交通、生活

特に命を守る訓練を考えて実施

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・耕作放棄地の拡大を防止、整備し、景観をよくする

観光・交流

まち、歴史・文化

上切町 集落点検カルテ

所属自治区 浅野自治区

地区の概要	位置
●旧旭町の北西部に位置し、野原村上切であったが、三濃村、旭村、平成17年には豊田市との合併を重ね上切町となる。 ●集落には、白山神社があり、かつては小原村の一部を含んだ近郷の中心的地であった。 ●明治以来、浅谷の小学校を本校とする上切分校があり、昭和42年の廃校まで続いた。 ●白山神社裏山の尾根を取り囲むように農地と民家が散在している。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（上切辻・上切白山神社・上切石畑辻・上切大平岩・上切田久谷・上切大平峯）
消防・警察	足助消防署 旭出張所10分（5.2km）、浅谷駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）	人口・世帯・世帯人員の推移																		
<table> <tr> <th>面積</th><th>279ha</th></tr> <tr> <td>計</td><td>80人</td></tr> <tr> <td>男性</td><td>37人</td></tr> <tr> <td>女性</td><td>43人</td></tr> <tr> <td>0～14歳</td><td>4人</td></tr> <tr> <td>15～64歳（30～64歳）</td><td>32人（29人）</td></tr> <tr> <td>65歳以上（75歳以上）</td><td>40人（25人）</td></tr> <tr> <td>世帯数</td><td>32世帯</td></tr> <tr> <td>平均世帯人員</td><td>2.50人/世帯</td></tr> </table>	面積	279ha	計	80人	男性	37人	女性	43人	0～14歳	4人	15～64歳（30～64歳）	32人（29人）	65歳以上（75歳以上）	40人（25人）	世帯数	32世帯	平均世帯人員	2.50人/世帯	人口・世帯数（人・世帯） 世帯人員（人/世帯）
面積	279ha																		
計	80人																		
男性	37人																		
女性	43人																		
0～14歳	4人																		
15～64歳（30～64歳）	32人（29人）																		
65歳以上（75歳以上）	40人（25人）																		
世帯数	32世帯																		
平均世帯人員	2.50人/世帯																		

人口ピラミッド（平成 27 年と令和 2 年の比較）

平成 27 年（10 月 1 日時点）

（人） 男性

女性（人）

年齢	男性（人）	女性（人）
85以上	4	6
80-84	3	5
75-79	2	4
70-74	2	3
65-69	7	3
60-64	2	4
55-59	6	4
50-54	3	2
45-49	1	3
40-44	1	2
35-39	1	0
30-34	1	0
25-29	2	5
20-24	3	2
15-19	2	1
10-14	0	0
5-9	1	0
0-4	1	0

平均年齢 男性 55.05 歳 全体 57.97 歳 女性 60.75 歳

令和 2 年（10 月 1 日時点）

（人） 男性

女性（人）

年齢	男性（人）	女性（人）
85以上	4	10
80-84	2	4
75-79	2	3
70-74	7	3
65-69	1	4
60-64	6	5
55-59	3	2
50-54	1	3
45-49	1	2
40-44	1	0
35-39	0	0
30-34	3	5
25-29	2	0
20-24	1	1
15-19	0	0
10-14	1	0
5-9	1	0
0-4	1	1

平均年齢 男性 57.54 歳 全体 61.88 歳 女性 65.60 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

一色町 集落ビジョン

一色町の良いところ

- ・ 合同で彼岸法要を実施しています。
- ・ 奉仕作業には世帯数以上の参加があります。
- ・ 昔から優良な珪砂が採れます。
- ・ 桜街道があります。

一色町のめざす姿

- ・ 現状を維持すること。



一色町のおもな取組

重点取組項目 1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・ 彼岸法要や奉仕作業などへの住民参加を現状維持

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目 2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・ 地区内で顔を見たら声かけ

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目 3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・ 農地、空き地の環境美化を持続して、大切な里山を後世に継承

観光・交流

まち、歴史・文化

一色町 集落点検カルテ

所属自治区 浅野自治区

地区の概要	位 置
● 一色は、旧旭町の北端に位置し、明治以来、野原村、三濃村、旭村に合併を重ね、平成17年豊田市との合併により一色町となる。 ● 洞々の平地及び山麓斜面を利用して農地があり周囲に民家が散在している。 ● 住民の全てが伊藤姓で、昭和30年代には17戸あった戸数も過疎化により現在8戸に減少している。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	名峰鉱業(株)（陶土採掘）
交通状況	地域バス（一色）
消防・警察	足助消防署 旭出張所 7分（3.5 km）、浅谷駐在所

基本データ（令和 2 年 10 月 1 日時点）			人口・世帯・世帯人員の推移																														
面 積		136ha	（人・世帯） （人/世帯） 人口・世帯数 世帯人員 <table border="1"><thead><tr><th>年</th><th>人口</th><th>世帯数</th><th>世帯人員</th></tr></thead><tbody><tr><td>H17</td><td>26</td><td>9</td><td>2.89</td></tr><tr><td>H20</td><td>27</td><td>9</td><td>3.00</td></tr><tr><td>H23</td><td>25</td><td>10</td><td>2.50</td></tr><tr><td>H26</td><td>28</td><td>9</td><td>3.11</td></tr><tr><td>H29</td><td>28</td><td>9</td><td>3.11</td></tr><tr><td>R2</td><td>26</td><td>8</td><td>3.25</td></tr></tbody></table>			年	人口	世帯数	世帯人員	H17	26	9	2.89	H20	27	9	3.00	H23	25	10	2.50	H26	28	9	3.11	H29	28	9	3.11	R2	26	8	3.25
年	人口	世帯数				世帯人員																											
H17	26	9				2.89																											
H20	27	9				3.00																											
H23	25	10				2.50																											
H26	28	9				3.11																											
H29	28	9				3.11																											
R2	26	8				3.25																											
人口	計	26 人																															
	男 性	14 人																															
	女 性	12 人																															
	0～14 歳	3 人																															
	15～64 歳 (30～64 歳)	11 人 (9 人)																															
	65 歳以上 (75 歳以上)	12 人 (6 人)																															
世 帯 数		8 世帯																															
平均世帯人員		3.25 人/世帯																															

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
(人) 男性	(人) 女性	(人) 男性	(人) 女性
平均年齢 男性 44.47 歳 全体 49.46 歳 女性 55.23 歳		平均年齢 男性 51.14 歳 全体 54.04 歳 女性 57.42 歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

浅谷町 集落ビジョン

浅谷町の良いところ

- ・集落は、中央に里山「丸山」があり、南向きで陽当たりがよく家屋が連担しています。
- ・八王子神社、妙見寺、丸山山頂の金毘羅さんと秋葉さん、弘法さん、行者さん等々、神社・仏閣及び石仏も多く、信仰心が厚い地域です。
- ・家門ごとに氏神を祭る習俗が残り、本家分家のつながりが保たれています。

浅谷町のめざす姿

- ・丸山と周辺荒廃地を整備し、憩いの場及び都市住民との交流の場にします。
- ・高齢者始め誰もが生きがいを持ち、安心して暮らせるまちづくりをします。
- ・子育て世代に魅力あるまちにします。
- ・町民一人一人が主役になれる地域活動に取り組みます。



浅谷町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちが通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・管理放棄状態の空き家ゼロをめざす
- ・住民の循環をめざす

子育て、学び・育ち

- ・地域子どもたちとの交流、つながりを深める
- ・「スモモの会」「浅野会」参加による健康づくり
- ・「歩け歩け運動」の推進

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・地域ぐるみの見守り活動
- ・県道、市道、生活道路の整備
- ・地域バスの定期運行の充実
- ・防災意識の高揚
- ・通過交通車両に対する交通安全対策



道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・農地の保全管理の推進
- ・「ふれあい市場」の取組に対するサポート強化

観光・交流

- ・「赤蕎麦の里・浅谷」の取組を展開

まち、歴史・文化

- ・しだれ桃街道、花いっぱい運動の推進
- ・神社等の歴史施設の整備、打ち囃子の伝承活動を継続

浅谷町 集落点検カルテ

所属自治区 浅野自治区

地区の概要	位置
●浅谷は、旧旭町の北部に位置し、旧岐阜県三濃村の中心地であった。旭村との合併後、高度成長の影響で過疎化が進み、小中学校が統合により廃校となった。跡地が浅野会館、郷土資料館、消防署旭出張所として整備され、現在も浅野自治区の中心地である。 ●集落中央の山を取巻くように民家、農地が分布している。 ●昭和51年北部山頂にゴルフ場がオープン、来客の増加につれ集落中央を通る県道が改良された。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	足助消防署旭出張所、浅野会館、旭郷土資料館、浅谷駐在所、ゴルフクラブ大樹旭コース、三濃建設(株)（建設業）、
交通状況	地域バス（浅谷不動・浅谷・浅野会館）
消防・警察	足助消防署 旭出張所0分（0.0 km）、浅谷駐在所

基本データ（令和 2 年 10 月 1 日時点）			人口・世帯・世帯人員の推移																													
人口	面 積	453ha	人口・世帯数	(人・世帯) (人/世帯) <table><caption>人口・世帯・世帯人員の推移</caption><tr><th>年</th><th>人口</th><th>世帯数</th><th>世帯人員</th></tr><tr><td>H17</td><td>204</td><td>58</td><td>3.52</td></tr><tr><td>H20</td><td>194</td><td>58</td><td>3.34</td></tr><tr><td>H23</td><td>184</td><td>60</td><td>3.07</td></tr><tr><td>H26</td><td>173</td><td>61</td><td>2.84</td></tr><tr><td>H29</td><td>157</td><td>60</td><td>2.62</td></tr><tr><td>R2</td><td>146</td><td>56</td><td>2.61</td></tr></table>	年	人口	世帯数	世帯人員	H17	204	58	3.52	H20	194	58	3.34	H23	184	60	3.07	H26	173	61	2.84	H29	157	60	2.62	R2	146	56	2.61
	年	人口			世帯数	世帯人員																										
	H17	204			58	3.52																										
	H20	194			58	3.34																										
	H23	184			60	3.07																										
	H26	173			61	2.84																										
	H29	157			60	2.62																										
R2	146	56	2.61																													
計	146 人																															
男 性	72 人																															
女 性	74 人																															
0～14 歳	10 人																															
15～64 歳 (30～64 歳)	67 人 (56 人)																															
65 歳以上 (75 歳以上)	69 人 (38 人)																															
世 帯 数		56 世帯																														
平均世帯人員		2.61 人/世帯																														

人口ピラミッド（平成 27 年と令和 2 年の比較）

平成 27 年（10 月 1 日時点）

(人) 男性 女性 (人)

年齢	男性	女性
85以上	4	16
80-84	5	5
75-79	4	9
70-74	5	6
65-69	6	8
60-64	11	5
55-59	7	8
50-54	3	6
45-49	3	3
40-44	5	7
35-39	4	2
30-34	4	3
25-29	3	3
20-24	5	2
15-19	3	3
10-14	1	1
5-9	2	2
0-4	2	0

平均年齢 男性 51.78 歳 全体 56.55 歳 女性 60.69 歳

令和 2 年（10 月 1 日時点）

(人) 男性 女性 (人)

年齢	男性	女性
85以上	3	12
80-84	3	8
75-79	6	6
70-74	7	8
65-69	6	5
60-64	11	7
55-59	6	6
50-54	3	2
45-49	5	7
40-44	3	1
35-39	5	3
30-34	4	1
25-29	3	2
20-24	2	3
15-19	1	0
10-14	2	2
5-9	3	0
0-4	2	1

平均年齢 男性 52.33 歳 全体 57.88 歳 女性 63.28 歳

※人口・世帯数は住民基本台帳による。

須淵町 集落ビジョン

須淵町の良いところ

- ・明智川沿いにレンギョウが千本ほど植栽されています。
- ・集落中央付近の山に、弘法さん88体が祀ってあります。
- ・県道豊田明智線を挟むように集落と農地が集中しています。

須淵町のめざす姿

- ・高齢者が、安心して生きがいを持って生活できる地域をつくります。
- ・レンギョウを生かした景観整備を維持します。



須淵町のおもな取組

重点取組項目1 気持ちを通い合う住民参加のまちづくり

移住・定住

- ・住民参加による景観整備作業の実施

子育て、学び・育ち

健康づくり

重点取組項目2 安全に安心して暮らし続けられるまちづくり

福祉

- ・あさひ緊急時連絡先情報カードを活用した緊急事態への備え

道路・交通、生活

防災、交通安全・防犯

重点取組項目3 美しさと魅力あふれるまちづくり

産業（農林業・商業）

- ・レンギョウ周辺の整備を続け、旭の花街道の一つとした景観保全

観光・交流

まち、歴史・文化

須淵町 集落点検カルテ

所属自治区 浅野自治区

地区の概要	位置
●須淵は、旧旭町の北部に位置し、東部、北部は岐阜県恵那市に隣接している。明治以来、浅谷村、三濃村、旭村に合併を重ね、平成17年豊田市への合併により須淵町となる。 ●集落の東部境界を明智川が流れ、川の西部に土石流堆積の平地があり、その中央を抜ける県道に沿った両側に民家が分布している。 ●集落の世帯数は、県道沿いの立地条件から減少は少ないが、高齢化が進み人口は減少している。	
地区の施設等の状況	
事業所・公共施設等	なし
交通状況	地域バス（須淵・須淵若里）
消防・警察	足助消防署 旭出張所4分（2.2km）、浅谷駐在所

基本データ（令和2年10月1日時点）		人口・世帯・世帯人員の推移	
面積	106ha		
人口	計	52人	
	男性	28人	
	女性	24人	
	0～14歳	0人	
	15～64歳 (30～64歳)	22人 (19人)	
	65歳以上 (75歳以上)	30人 (16人)	
世帯数		27世帯	
平均世帯人員		1.93人/世帯	

人口ピラミッド（平成27年と令和2年の比較）			
平成27年（10月1日時点）		令和2年（10月1日時点）	
(人) 男性	(人) 女性	(人) 男性	(人) 女性
平均年齢 男性 60.94歳 全体 62.50歳 女性 64.27歳		平均年齢 男性 60.89歳 全体 63.75歳 女性 67.08歳	

※人口・世帯数は住民基本台帳による。



第2次旭地区まちづくり計画

〔2021～2030〕

集落ビジョン

前期・2021～2025

策定 各町内会

編集 豊田市役所 旭支所

豊田市小渡町船戸 15-1 TEL 68-2211 FAX 68-3476

asahi-shisho@city.toyota.aichi.jp

2022年3月